

四街道市の公共施設に関する 市民アンケート調査結果

平成 27 年 12 月

目次

1. 調査概要	1
1.1 目的.....	1
1.2 概要.....	1
1.3 アンケート調査の設問構成とデータの反映方針	2
2. 調査結果のまとめ	4
3. 調査結果の概要	9
3.1 あなたご自身について	9
3.2 公共施設の利用状況について	13
3.3 今後の公共施設のあり方について	17
3.4 公共施設の維持管理・運営の取り組みについて.....	19
3.5 自由意見について.....	22
4. 調査結果のクロス集計による考察.....	51
4.1 施設別の利用状況、交通手段、優先度の特性.....	51
4.2 施設別の管理・運営に対する認識、長期的な保全・活用方策の考え方、アクセスに対する許容の特性と考察.....	55
5. 参考資料（依頼文と参考資料、アンケート調査票）	74

1.3 アンケート調査の設問構成とデータの反映方針

アンケート調査の設問構成とデータの反映方針について、以下に示します。

分類		選 択 数	設問	設問の目的と総合管理計画との関係
1	利用状況	5 9	① 施設の利用頻度 ② 利用していない理由 (いくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設のうち、市民が利用する施設を対象とし、各施設の利用状況を把握する。 ・ 市民利用度合や利用していない理由から、施設の存廃・機能集約・長寿命化等を検討するための資料とする。
2	交通手段、 所要時間	9 5	① 主な交通手段 ② 所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の公共施設利用移動手段と所要時間の傾向を把握する。 ・ 施設の統廃合等を検討する際の優先順位について、交通の手段や所要時間の傾向を基に適正配置の目安とする。
3	存続の 優先度	5 6	① 優先度 ② 優先度が低い理由 (2つまで)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が保有する公共施設の存続についての優先度（＝市民の評価）を把握する。 ・ 施設の存続優先度の傾向から、「施設類型ごとの管理に関する基本的な方針」検討の際の基礎データ（例えば優先度は高いものから改善に着手するなど）とする。

分類		選 択 数	設問	設問の目的と総合管理計画との関係
4	公共施設の現状	3	状況の認知度について	<ul style="list-style-type: none"> 添付資料における市の人口や公共施設の現状及び見通しを踏まえ、市民の認識を把握する。
5	公共施設活用方策	4	今後の公共施設の整備や管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設全般に対する、市民の意向を把握し、指針における「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」の中で、公共施設全体の方向性を検討する際の基礎データとする。
6	統廃合における、アクセス変化に対する意見	5	アクセス変化に対する許容可否について	<ul style="list-style-type: none"> 施設の統廃合等を検討する際、交通アクセスの許容の範囲を把握する。 施設配置を検討するうえでの資料とする。
7	属性等		性別	<ul style="list-style-type: none"> 各設問のクロス集計に用いる要素とし、詳細な分析に活用する。
			年齢	
			居住区(5 地区)	
			職業	
			家族構成	
			居住歴	
			通勤・通学先	
			地域活動参加状況	
	サークル加入状況			

2. 調査結果のまとめ

以下に、本アンケート調査における回答の特徴点を、回答者属性によるクロス集計結果を交えながら設問ごとにまとめました。

問1【公共施設利用状況】【現在利用していない理由】

ここでは、各施設をどれくらい利用しているか、また、利用していない場合は、その理由は何かを聞いています。

【結果】

① 設問全体の回答傾向

- ・ 全般的に利用頻度が低い施設がほとんどです。その中で「文化センター」、「図書館」、「南部総合福祉センターわろうべの里」は、比較的利用頻度が高い傾向にあります。
- ・ 利用しない理由では、利用する機会や必要性がないという理由が施設全般で多くなっています。
- ・ 施設の存在自体を知らないとの回答も全般で見られ、特に、「大熊記念コミュニティセンター」については39%、「鹿放ヶ丘ふれあいセンター」については25%と、多くの人が施設の存在自体を知らないと回答しています。

② 属性別、施設別の回答傾向

- ・ 男女別では、「野球場」を除き女性の利用比率が高くなっています。また、利用しない理由のうち「場所が不便で行きにくい」と回答した女性の比率が高くなっています。
- ・ 年代別では、「図書館」「わろうべの里」とスポーツ系施設以外は、年代が上がるにつれて日常的な利用者の比率が高くなる傾向にあります。また、施設の存在自体を知らないという回答は、比較的年代が若い人に多い傾向があります。
- ・ 居住地区別では、特に「公民館」で、当該公民館の所在地区の住民の利用比率が高い傾向が顕著に現れています。また、利用しない理由のうち場所が不便で行きにくいいため、特に「図書館」「総合公園体育館」「温水プール」で地区ごとの差がみられます。
- ・ 職業別では、その他の人の利用比率が高い傾向が現れています。また、多くの施設で過去に利用したことがあると回答した学生の比率が高くなっています。利用しない理由では、スポーツ系施設以外の多くで、施設の存在自体を知らないと回答した学生の比率が高くなっています。また、「図書館」「温水プール」で、場所が不便で行きにくいと回答した学生の比率が高くなっています。
- ・ 家族構成では、全般的には、親と子（2世代）世帯の人の利用比率が高い傾向にありますが、「国民保養センター鹿島荘」では夫婦のみの世帯の人の比率が高く、総合福祉センターでは一人暮らしの人の比率が高くなっています。
- ・ 居住期間では、よく利用しているおよびたまに利用しているという人の利用比率が、1年以上の居住で概ね平均的に現れています。
- ・ 通勤・通学では、全般的に、市外に通勤・通学している人と通勤・通学していない人の利用比率が高い傾向にあります。また、利用しない理由では、「図書館」で、利用できる時間が合わないと回答した通勤・通学をしている人の比率が高くなっています。
- ・ 全般的に、地域活動に参加している人や、趣味などのサークルや団体に加入している人は、公共施設の利用比率が高くなっています。

問2【利用時の交通手段】【施設までの所要時間】

ここでは、各施設を利用したときの交通手段と所要時間を聞いています。

【結果】

① 設問全体の回答傾向

- ・「鹿放ヶ丘ふれあいセンター」「総合公園体育館」「総合公園多目的運動場」「温水プール」で、利用者の約7割という高い率での自家用車の利用（自分で運転または送迎）見られるほか、その他の施設においても「四街道公民館」「中央公園プール」を除き、利用者の約5割は自家用車を利用しています。
- ・「四街道公民館」「図書館」「中央公園武道館」「中央公園プール」で、自転車・徒歩で利用する人が比較的多くなっています。
- ・施設全般でバス・コミュニティバスを利用している人は少ない傾向にあります。
- ・施設の多くで所要時間は15分未満が5割、15分から30分が約4割という傾向です。

② 属性別、施設別の回答傾向

- ・男女別では、施設全般で、自家用車、徒歩による利用比率が若干男性の方が高く、バスの利用比率は女性の方が高くなっています。
- ・年代別では、多くの施設で、20歳代の自転車の利用比率が比較的高くなっています。
- ・居住地区別では、当該施設が所在する地区の人に、自転車や徒歩の比率が高くなっています。
- ・職業別では、学生のバス・自転車・徒歩による利用比率が高くなっています。
- ・家族構成では、全般的にひとり暮らしの人のバス・コミュニティバスの利用比率が高くなっています。
- ・居住期間では、居住1年未満の人のバス・コミュニティバスの利用比率が高くなっています。
- ・通勤・通学では、通勤・通学形態による大きな違いは現れていません。
- ・多くの施設で、地域活動に参加していない人や、趣味などのサークルや団体に参加していない人のバス・自転車・徒歩による利用比率が比較的高くなっています。

問3【公共施設存続の優先度】【優先度が低い理由】

ここでは、各施設の存続に対する優先度（高い・低い）の考えを聞いています。
また、優先度が低いと考える場合は、その理由について聞いています。

【結果】

① 設問全体の回答傾向

- ・施設の存続に対する優先度では、「文化センター」「図書館」「総合公園体育館」など比較的利用頻度の高い施設は、優先度が高いとの回答が多くなっています。
- ・「公民館」「鹿放ヶ丘ふれあいセンター」「大熊記念コミュニティセンター」「国民保養センター鹿島荘」は、比較的優先度は低いとの回答が多くなっています。
- ・優先度が低いと回答した人の理由は、施設全般において、一部の人にしか使われていなさそうだからと、なくても支障がなさそうだからと回答した人が、合わせて5割を超えています。
- ・優先度が低いと回答した人の理由で、「公民館」は他の施設に統合できそうとの回答が他の施設に比べて多くなっています。

② 属性別、施設別の回答傾向

- ・男女別では、優先度が高いとの回答は、全般的に男性よりも女性の比率が高くなっています。また、優先度が低いと回答した人の理由で、なくても支障がなさそうだからと回答した人は男性の比率が高くなっています。
- ・年代別では、「図書館」と「文化センター」は、どの年代も存続に対する優先度は高いと回答しています。また、スポーツ系施設は若い年代ほど優先度が高いと回答しています。
- ・居住地区別では、自身の居住地区にある「公民館」に対する優先度は高いとする傾向がみられますが、他の施設については居住地区による優先度の大きな違いはみられません。
- ・職業別では、特に学生が、「図書館」「文化センター」およびスポーツ系施設で優先度が高いと回答しています。
- ・家族構成では、公民館がひとり暮らしの人に、優先度が高いとする回答の比率が高くなっています。その他の施設では、親と子（2世代）、親と子と孫（3世代）の世帯の人に優先度が高いとする回答の比率が高くなっています。
- ・居住期間では、全般的に居住期間による大きな違いはみられません。
- ・通勤通学では、多くの施設で、市内に通勤・通学している人に、優先度が高いとする回答の比率が比較的高くなっています。
- ・地域活動に参加している人や、趣味などのサークルや団体に加入している人は、参加していない人および加入していない人に比べて全般的に優先度が高くなっています。また、優先度が低いと回答した人の理由で、なくても支障がなさそうだからと回答した人は、地域活動に参加していない人や、趣味などのサークルや団体に加入していない人に多い傾向にあります。

問4【公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識】

ここでは、今後、公共施設の維持管理・運営状況が非常に厳しくなっていく全国的な傾向を認知しているかどうかを聞いています。

【結果】

① 設問全体の回答傾向

- ・公共施設の維持管理・運営状況が非常に厳しくなっていく全国的な傾向については、なんとなく知っているという回答した人が59%と最も多く、よく知っているという回答した人は24%で、合わせると8割以上の人認知しています。

② 属性別、施設別の回答傾向

- ・属性による回答傾向に大きな違いはみられません。

問5【公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方】

ここでは、施設の保全・活用のための方策を例示し、それぞれの方策ごとに実施すべきか否かの考えを聞いています。

【結果】

① 設問全体の回答傾向

- ・施設の統廃合、民間活用については、8割以上の人が実施すべきと回答しています。
- ・近隣市との共同運営、利用者管理、施設の寿命を延ばす、民間施設への利用助成については、7割程度の方が実施すべきと回答しています。
- ・施設の使用料金引き上げ及び無料施設の有料化については、いずれも5割を超える人が実施すべきと答えています。
- ・他の行政サービスを圧縮して施設の運営管理費に充てる財源を捻出することに対しては、7割程度の方が実施すべきではないと回答しています。

② 属性別、施設別の回答傾向

- ・男女別では、統廃合、近隣市との共同運営、民間活用、施設の寿命を延ばす、使用料金引き上げ、無料施設の有料化の部分で、実施すべきとする回答の比率は男性が高くなっています。
- ・年代別では、施設の寿命を延ばす、使用料金引き上げ、無料施設の有料化の部分で、年齢が高くなるほど実施すべきとする回答の比率が高くなっています。
- ・職業別では、パートタイマー・アルバイト及び学生が使用料金引き上げ、無料施設の有料化の部分で実施すべきではないとする回答の比率が高くなっており、また、他の行政サービス圧縮の部分では、実施すべきとの回答の比率が他の職業の人に比べて高くなっています。
- ・家族構成による大きな違いは見られません。
- ・居住期間による大きな違いは見られません。
- ・通勤・通学の形態による大きな違いは見られません。
- ・地域活動に参加、不参加による大きな違いは見られません。

問6【公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下】

ここでは、施設の統廃合により、施設までの距離が遠くなった場合に許容できるか否かについて聞いています。

【結果】

① 設問全体の回答傾向

- ・遠くても交通アクセスがよければ許容できるという人が32%と最も多く、次いで、ある程度までなら許容できるが28%と比較的多くなっています。
- ・許容できないと回答した人は6%と少なく、何らかの条件さえ整えば許容できると考えている人が大勢を占めています。

② 属性別、施設別の回答傾向

- ・男女別では、女性に、許容できないとする回答の比率が若干高くなっています。
- ・年代別では、70歳代以上の人に、許容できないとする回答の比率が若干高くなっています。
- ・職業別では、パートタイマー・アルバイト、学生、無職、その他の人に、許容できないとする回答の比率が若干高くなっています。
- ・家族構成による大きな違いは見られません。
- ・居住期間による大きな違いは見られません。
- ・通勤・通学では、通勤通学していない人に、許容できないとする回答の比率が若干高くなっています。
- ・地域活動に常に参加している人に、許容できないとする回答の比率が若干高くなっています。

3. 調査結果の概要

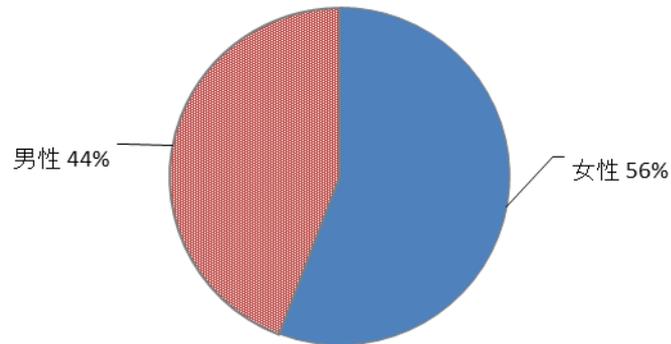
3.1 あなたご自身について

回答者の約半数は、女性、60歳代以上、無職・主婦、親と子の2世代、居住期間30年以上、通勤・通学していない、地域活動はたまに参加、趣味などのサークル等に加入していない人たちでした。

質問内容	回答数	結 果				合計
		男		女		
①男女別構成	1070	44% (473)		56% (597)		100%
②年齢別構成	1070	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	100%
		1% (4)	5% (54)	10% (107)	15% (161)	
		50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	
		13% (143)	25% (264)	23% (248)	8% (89)	
③居住地域別構成	1064	四街道中学校地区	四街道西中学校地区	旭中学校地区	四街道北中学校地区	100%
		24% (260)	23% (242)	18% (188)	18% (196)	
		千代田中学地区				
		17% (178)				
④職業別構成	1067	無職・専業主婦	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業・農業	100%
		46% (489)	24% (254)	17% (177)	6% (66)	
		学生	その他			
		2% (26)	5% (55)			
⑤家族構成	1068	親と子(2世代)	夫婦のみ	親と子と孫(3世代)	一人暮らし・単身	100%
		48% (509)	34% (362)	7% (79)	7% (78)	
		その他				
		4% (40)				
⑥居住期間	1080	30年～	20年～30年	10年～20年		100%
		48% (521)	20% (216)	18% (196)		
		5年～10年	1年～5年	0～1年		
		8% (81)	5% (57)	1% (9)		
⑦通勤・通学状況	1022	通勤・通学してない	市外に通勤・通学	市内に通勤・通学		100%
		55% (566)	32% (325)	13% (131)		
⑧地域活動参加状況	1077	たまに参加している	参加していない	ほとんど参加している	常に参加している	100%
		43% (460)	35% (379)	14% (148)	8% (90)	
⑨趣味などのサークルや団体加入状況	1074	加入していない		加入している		100%
		64% (683)		36% (391)		

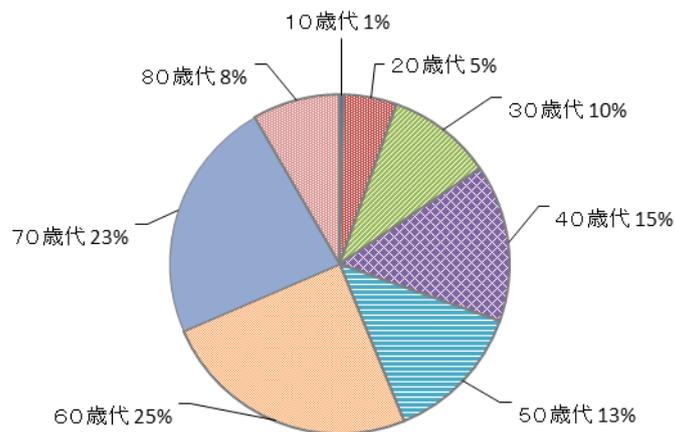
① あなたの性別はどちらですか。

性別は、「男性」が44%、「女性」56%となっています。



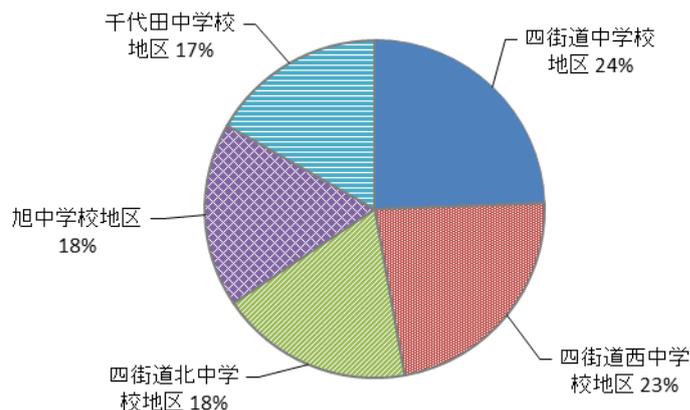
② あなたの年齢はどれですか。

年齢は、60歳代以上が過半数を占めています。



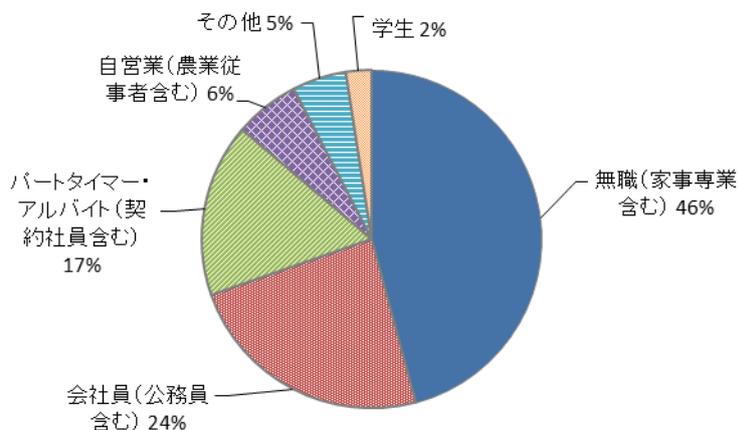
③ あなたがお住まいの地区はどこですか。

居住地区は、「四街道中学校地区」が24%と最も多く、次いで「四街道西中学校地区」が23%となっています。



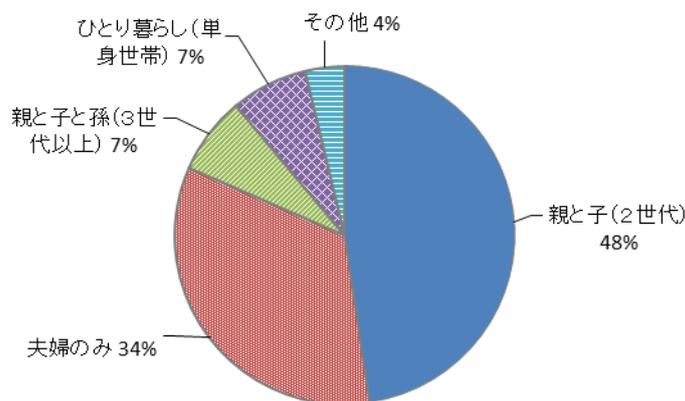
④ あなたのご職業はどれですか。

職業は、「無職・専業主婦」が46%と最も多く、次いで「会社員・公務員」が24%、「パート・アルバイト」が17%となっています。



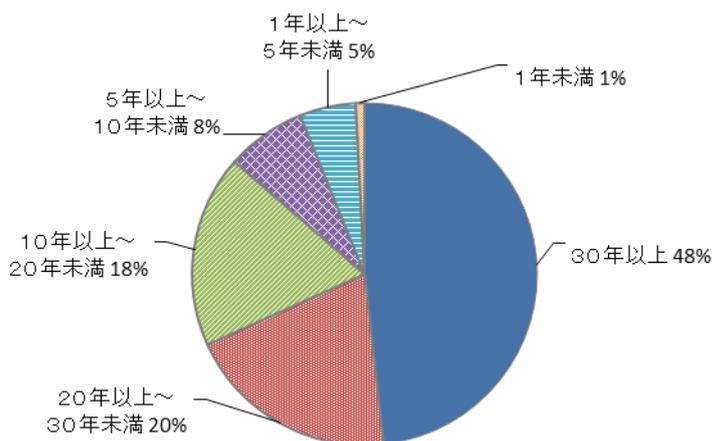
⑤ あなたの家族構成はどれですか。

家族構成は、「親と子(2世代)」が48%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が34%となっています。



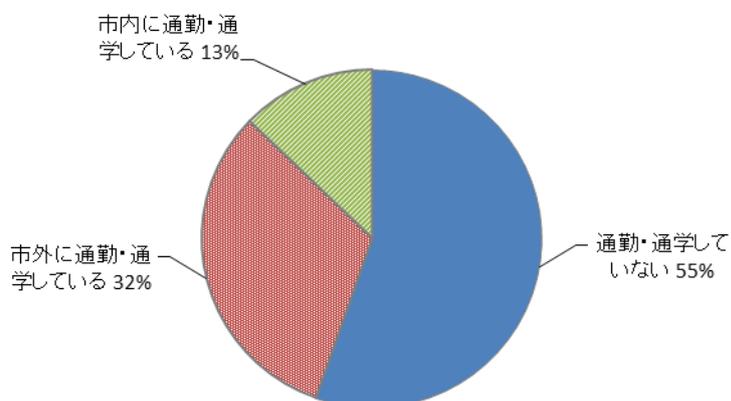
⑥ あなたはどのくらいの期間、四街道市にお住まいになられていますか。

居住年数は、「30年以上」が48%と最も多く、次いで「20年以上～30年未満」が20%、「10年以上～20年未満」が18%となっています。



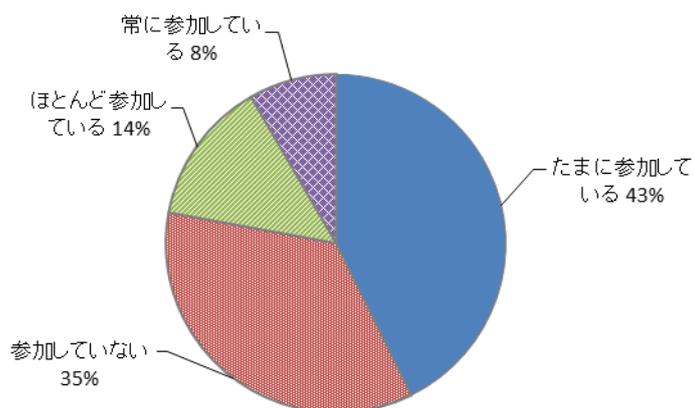
⑦ あなたは四街道市内に通勤または通学していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は一つ）

通勤・通学状況は、「通勤・通学していない」が55%と最も多く、次いで「市外に通勤・通学」が32%となっています。



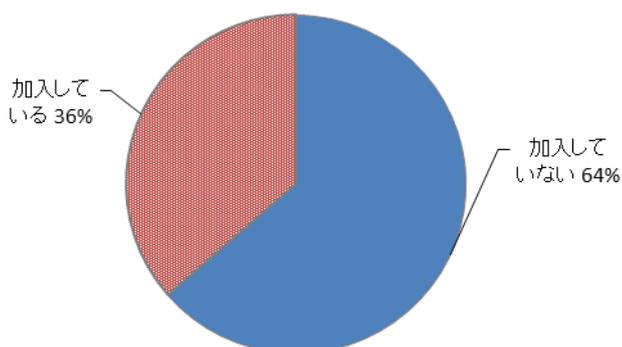
⑧ あなたは自治会などが行う地域活動に参加していますか。

地域活動参加状況は、「たまに参加している」が43%と最も多く、次いで「参加していない」が35%となっています。



⑨ あなたは職場や学校以外で、趣味などのサークルや団体に加入していますか。

趣味などのサークルや団体加入状況は、「加入していない」が64%、「加入している」が36%となっています。

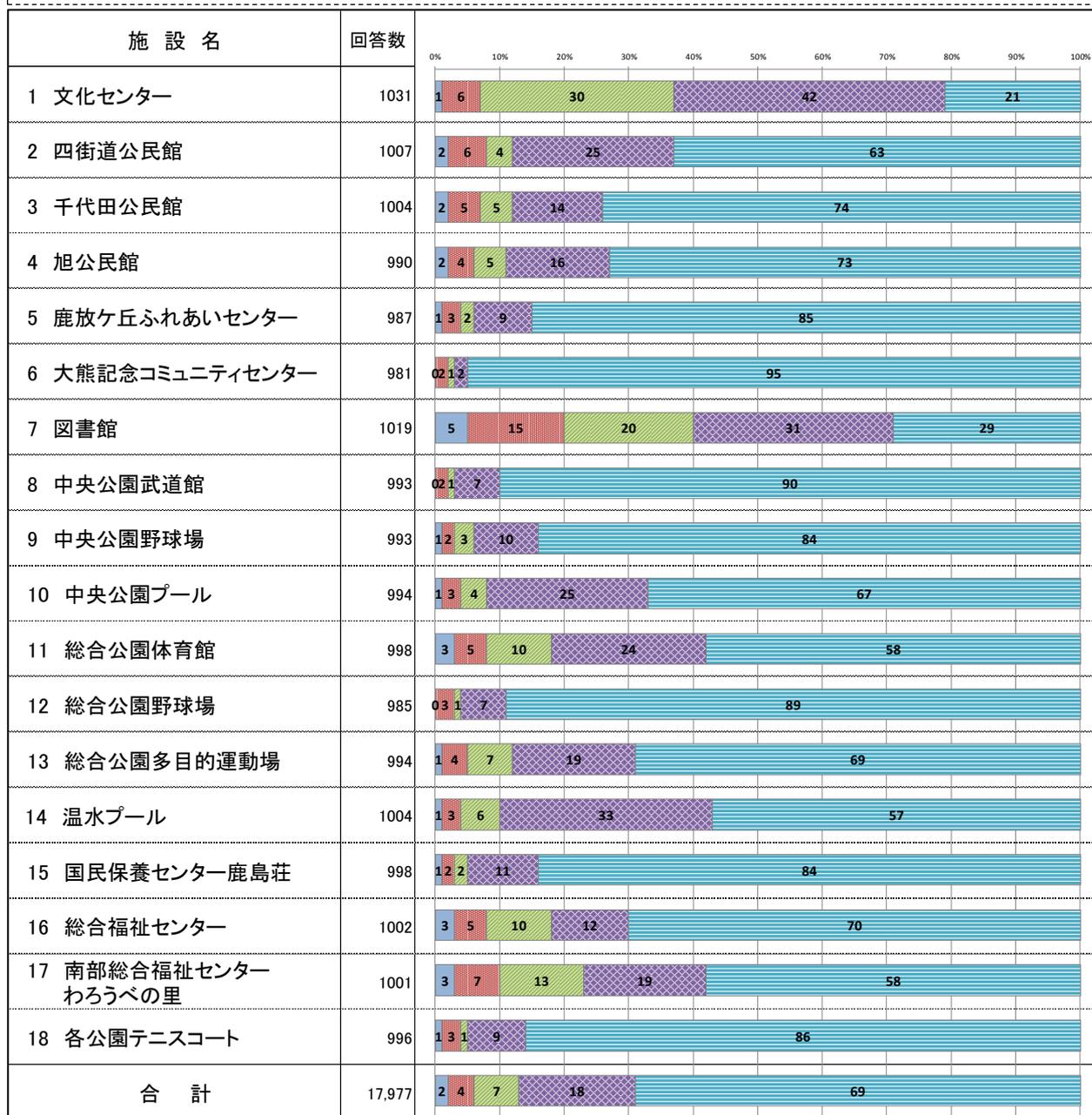


3.2 公共施設の利用状況について

利用頻度①

問1-① あなたは、下表に示す公共施設をどのくらい利用していますか。対象施設ごとに「①利用頻度」から一つ選び、番号に○をつけてください。

■ よく利用している(週一回以上)
 ■ たまに利用している(月数回程度)
 ■ ごくたまに利用している(年数回)
■ 過去に利用したことがある
 ■ 利用したことがない



- 全般的に施設の利用頻度は少ない中で、比較的多く利用されている施設は文化センター、図書館となっています。
- 18施設の内、「よく利用している」が5%を超える施設は図書館のみとなっています。
- 次に「よく利用している」と「たまに利用している」が10%を超える施設は図書館、南部総合福祉センターわろうべの里であり、他の施設と比較しては利用頻度が高くなっています。

利用頻度②

「問1-①利用頻度」で「過去に利用したことがある」又は、「利用したことがない」を選択した場合は、「②利用しない理由」よりその理由を選んで、番号に○をつけてください。（複数可）

- 場所が不便で行きにくい
■ 利用できる時間が合わない
■ 設備に不満がある
- 他市の類似施設を利用するため
■ 民間の類似施設を利用するため
■ 利用する機会や必要性がない
- サービスの内容を知らないため
■ 利用したいと思わないため
■ 施設の存在自体を知らない

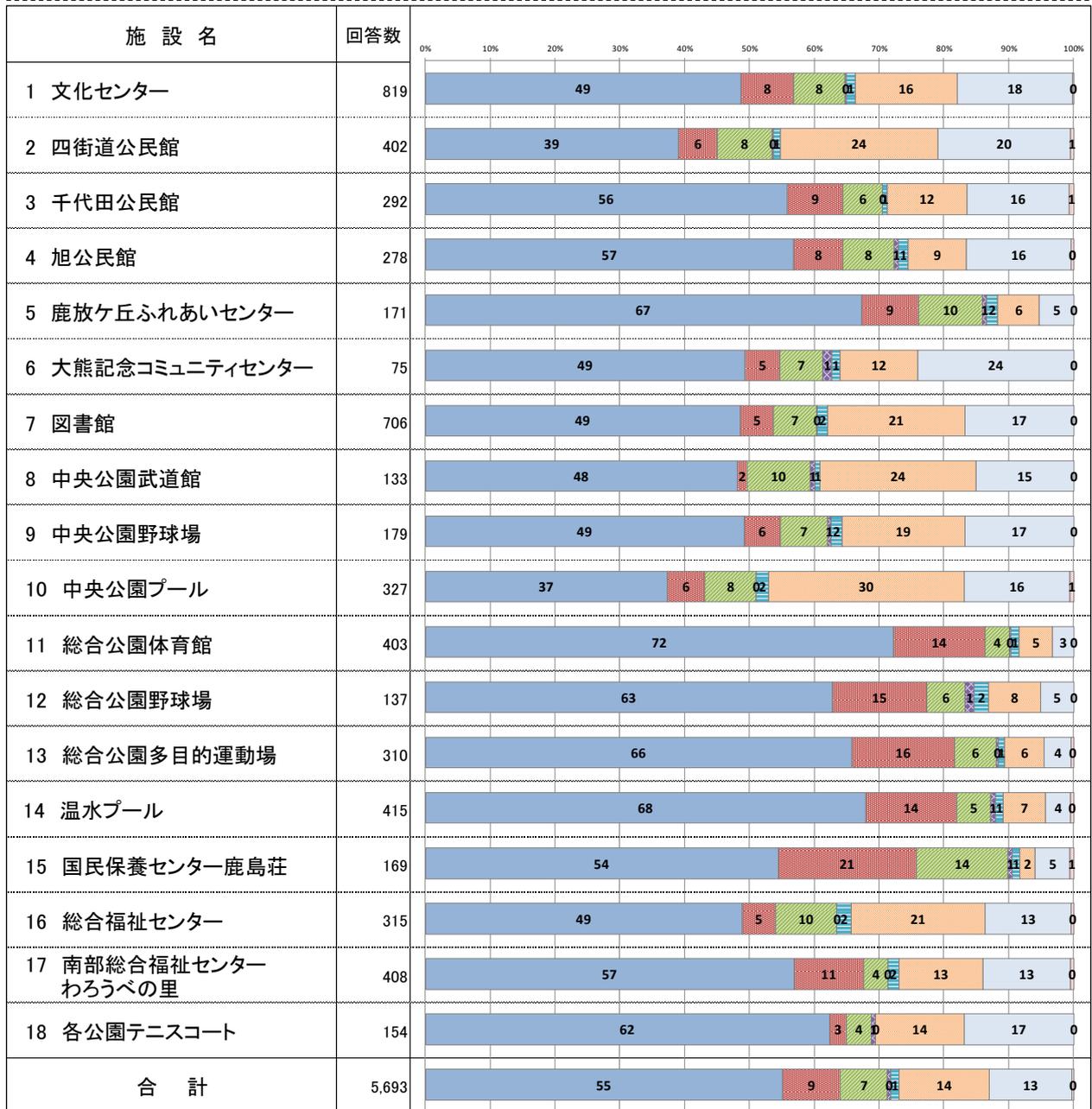
施設名	回答数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
1 文化センター	767	2	6	2	2	64	11	11	2			
2 四街道公民館	1082	7	3	2	1	56	11	12	8			
3 千代田公民館	1138	14	2	2	1	49	8	11	13			
4 旭公民館	1127	13	2	2	1	49	7	11	15			
5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター	1193	11	1	1	1	42	9	10	25			
6 大熊記念コミュニティセンター	1218	6	0			35	9	9	39			
7 図書館	701	5	11	8	3	48	5	12	3			
8 中央公園武道館	1104	2	2	0		60	7	17	11			
9 中央公園野球場	1053	2	1	1		67	4	19	5			
10 中央公園プール	1045	2	3	3	5	56	4	19	6			
11 総合公園体育館	942	10	5	1	2	56	6	15	5			
12 総合公園野球場	1079	6	1			65	4	18	5			
13 総合公園多目的運動場	1006	9	1	1		60	6	16	6			
14 温水プール	1037	13	5	4	4	50	4	13	5			
15 国民保養センター鹿島荘	1165	8	1	1	2	47	9	15	16			
16 総合福祉センター	965	2	2	1	1	51	14	10	19			
17 南部総合福祉センター わろうべの里	940	9	3	1	1	51	12	11	12			
18 各公園テニスコート	1069	2	3	1	1	60	4	20	9			
合計	18,631	7	3	2	2	53	7	14	11			

- 全般的に利用しない理由は、「利用する機会や必要性がない」が多くを占めています。
- 大熊記念コミュニティセンターは、「施設の存在自体を知らない」が39%であり全施設中最も多くなっています。

主な交通（移動）手段

問2-① あなたは、これまで下表に示す公共施設を利用されたとき、主にどの交通（移動）手段を使われましたか。

- 自家用車（自分で運転）
- 自家用車（他の方に送迎してもらう）
- バス・コミュニティバス
- タクシー
- 自動二輪車・原動機付き自転車
- 自転車
- 徒歩
- その他



- ・自家用車利用（自分または送迎）で多いのは、総合公園体育館・多目的運動場・野球場、温水プール、鹿島荘、鹿放ヶ丘ふれあいセンターで約7割から9割の利用が見られます。自転車・徒歩利用で多いのは、中央公園プール、四街道公民館、中央公園武道館、図書館で約3割から5割近く利用しています。四街道公民館、中央公園プールは自転車・徒歩が自家用車利用よりも多い状況であり、アクセスしやすい施設であることが分かります。

所要時間

問2-② 公共施設を利用されたときの所要時間

■ 15分未満 ■ 15分～30分未満 ■ 30分～60分未満 ■ 60分～90分未満 ■ 90分以上

施設名	回答数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	
1 文化センター	807												
2 四街道公民館	901												
3 千代田公民館	287												
4 旭公民館	282												
5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター	172												
6 大熊記念コミュニティセンター	78												
7 図書館	682												
8 中央公園武道館	141												
9 中央公園野球場	185												
10 中央公園プール	334												
11 総合公園体育館	406												
12 総合公園野球場	145												
13 総合公園多目的運動場	314												
14 温水プール	426												
15 国民保養センター鹿島荘	173												
16 総合福祉センター	312												
17 南部総合福祉センター わろうべの里	410												
18 各公園テニスコート	162												
合計	6,217												

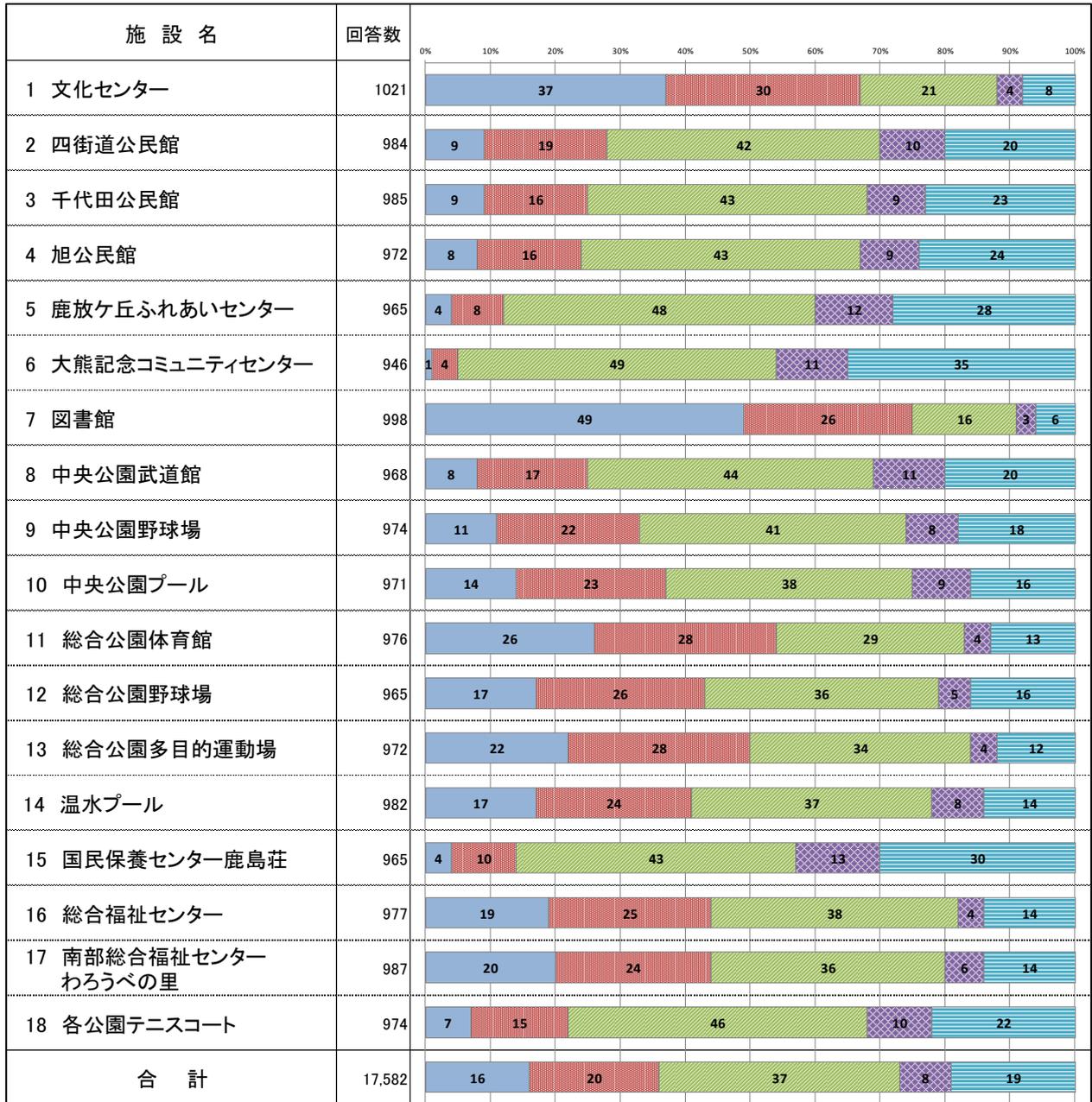
- 30分以内の所要時間がほとんどとなっています。
- 18施設中13施設が、交通（移動）の所要時間が「15分未満」が最も多くなっています。
- 残り5施設は「15～30分」が最も多く、各施設とも7割以上の人々が30分以内の交通（移動）時間でアクセスしていることがわかります。

3.3 今後の公共施設のあり方について

存続に対する優先度

問3-① あなたは、四街道市が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、それぞれの施設の優先度（高い・低い）をどのように考えますか。下表の施設ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

■ 優先度が高い ■ どちらかというと優先度が高い ■ どちらともいえない
■ どちらかというと優先度が低い ■ 優先度が低い

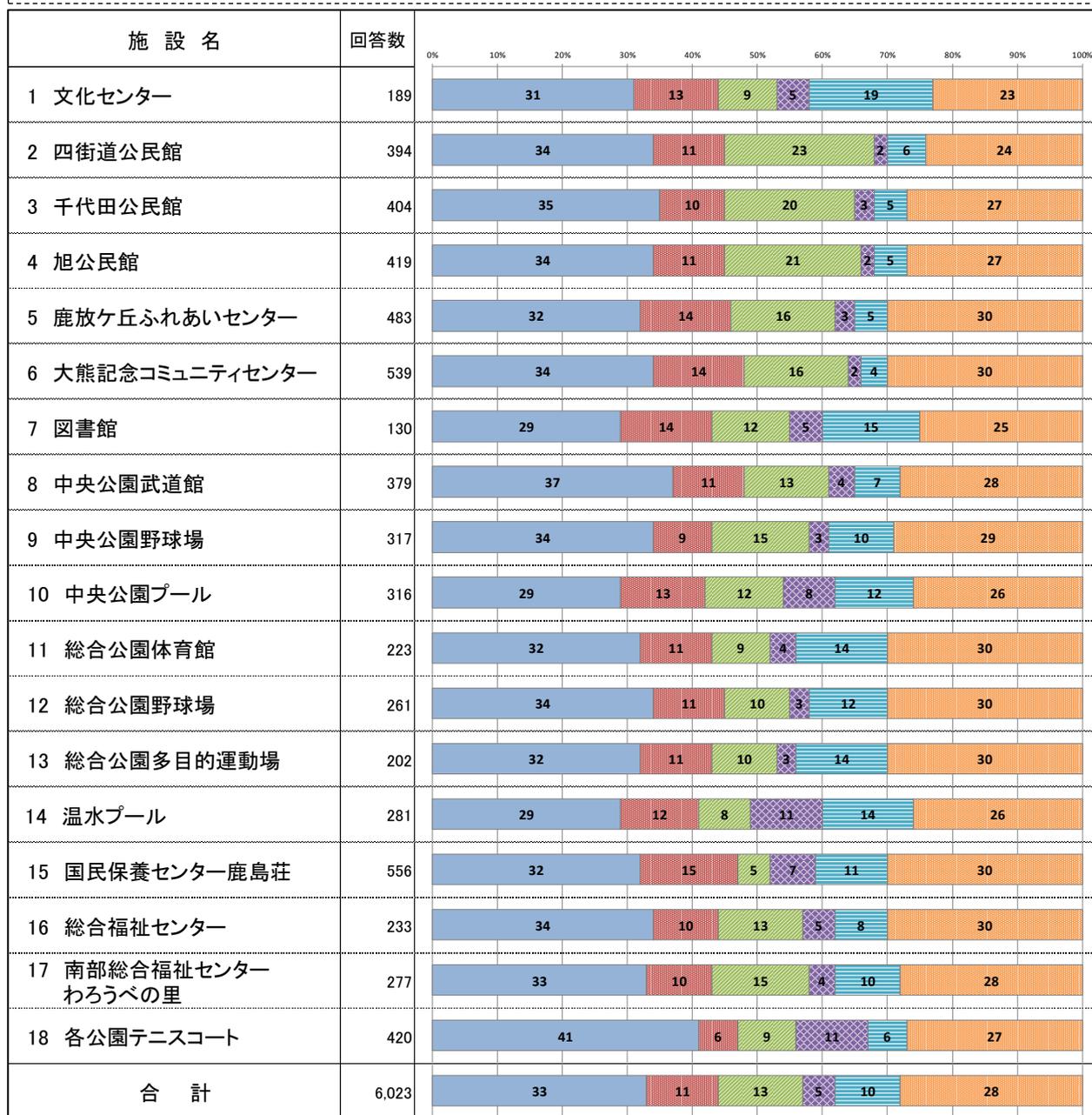


- 「優先度が高い」と「どちらかというと優先度が高い」の比率の和が5割以上の施設は、文化センター、図書館、総合公園体育館、総合公園多目的運動場の4施設となっています。

存続に対する優先度

問3-② ①で「どちらかというと優先度が低い」又は「優先度が低い」を選ばれた場合は、
②優先度が低い理由より、その理由を二つまで選び、番号に○をつけてください。

- 一部の人にしか使われていなさそうだから
- 利用者が少なそうだから
- 他の施設に統合できそうだから
- 民間に類似施設がありそうだから
- 管理・運営に要する費用が高そうだから
- なくても支障がなさそうだから



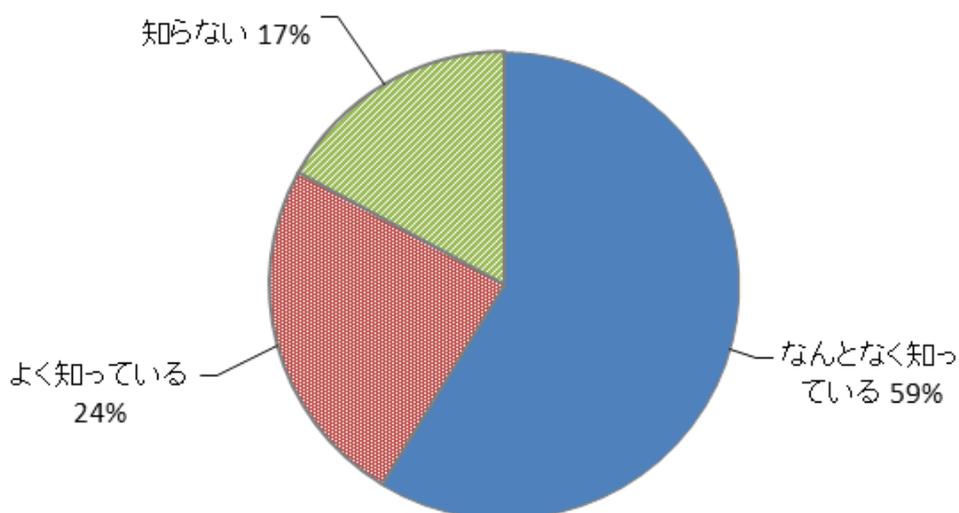
- 全ての施設で「一部の人にしか使われていなさそうだから」が約3割以上を占め、「なくても支障がなさそうだから」を合わせると5割を超えています。

3.4 公共施設の維持管理・運営の取り組みについて

公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識

問4 市の公共施設は、昭和40年代から50年代に建てられたものが多く、老朽化と共に、近い将来、一斉に建替えなどを実施しなければならない時期を迎えます。一方で、少子高齢化の影響などから財政状況は厳しさを増し、今あるすべての公共施設や機能を維持し続けることが難しくなる見込みです。こうしたことは、全国的な傾向ですが、あなたは、このような状況をご存じでしたか。以下の中から、一つ選び、番号に○をつけてください。

回答数 1029

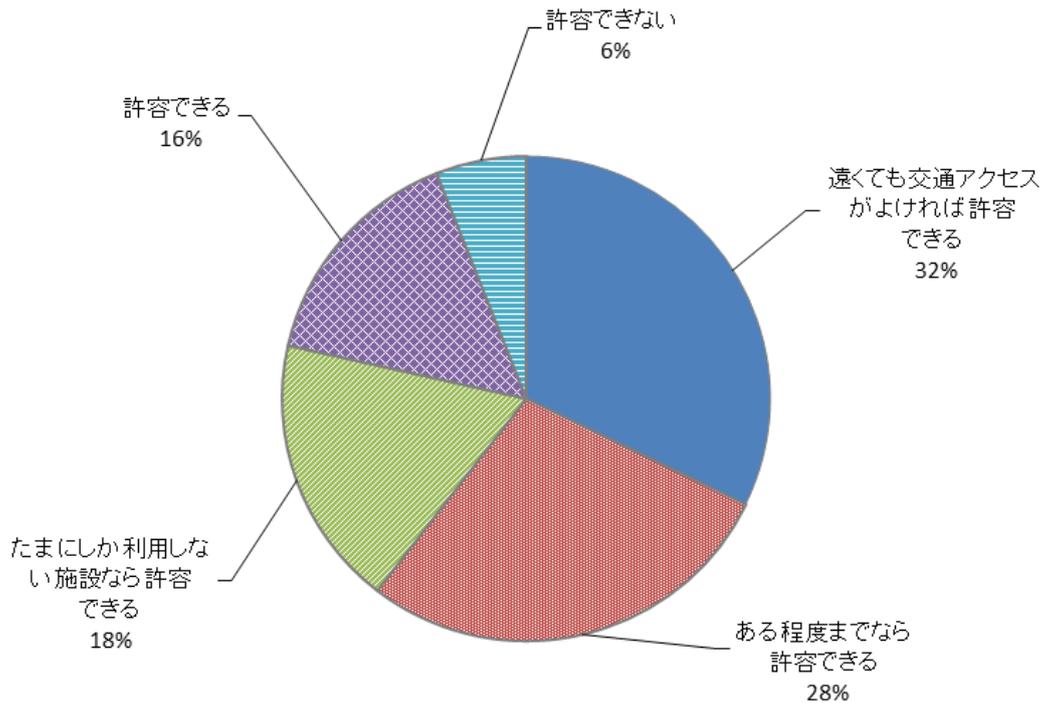


• 市の公共施設の維持が困難な状況については「なんとなく知っている」が最も多く59%、次いで「よく知っている」が24%となっており、状況を認識している人が8割以上を占めています。

公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下

問6 今後、もし公共施設の統廃合を行った場合は、現在より公共施設までの距離が遠くなることも考えられます。その場合、あなたは許容できますか。以下の中から、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

回答数 1034



- 「遠くても交通アクセスがよければ許容できる」が32%で最も多くを占め、次いで「ある程度までなら許容できる」が28%と比較的多くなっています。

3.5 自由意見について

以下に、自由意見を分類しました。

自由意見は、回収数（1084 票）のうち、約 4 割にあたる 402 名の方からご意見を頂きました。統廃合に関する意見 74 件、利用者が利用負担に関する意見 36 件等、多くのご意見をいただきました。

アンケートの自由意見の抜粋を次のように分類した。
※ 提案的意見は、今回のアンケートの間5(公共施設の今後に対する市民の考え方)の設問に準じて分類した。
1. 提案的意見
①今ある施設を廃止、統廃合、機能集約すべきという意見
②学校の統廃合に関する意見
③新築・建て直しの意見
④近隣の自治体と共用できる施設は共同管理にすべきという意見
⑤民間の資金やノウハウを活用する意見
⑥区や自治会、利用者が運営管理すべきという意見
⑦建て替えは行わずに補強・改修などをして現状維持・統廃合しないという意見
⑧利用者が費用負担すべきという意見
⑨市の支出を減らすという意見
⑩市の収入を増やす努力をするという意見
⑪PRしてもっと利用者を増やすという意見
⑫魅力ある施設にすべきという意見
⑬他自治体を参考にすべきという意見
⑭その他の提案
2. 四街道市へのお願い的な意見
3. その他の意見（分類出来ない意見）
※複数の意見を書かれている方や、同じような意見、整理しづらい文章的意見等は除いて抜粋している。そのため意見の数自体は意味あるものでない、概ねの傾向としての意見の数を表している。

次頁以降に意見を示す。

1. 提案的意見

①今ある施設を廃止、統廃合、機能集約（問5-1に関連）	
1	市役所庁舎と消防署の統合や地区消防団統合
2	現在利用人数が少ない施設はいずれ廃止し、現在利用人数が多い施設を残していくようにしたら良い。
3	公共の施設なのだから、利用者が落ち込んでいる所は統廃合が必要なのでは？
4	四街道市はコンパクトシティであるところが最大の長所だと思うし、統合しての改（新）築が可能な施設は積極的に行なうべきだと思います。
5	古くなった施設は取りこわすのはやむをえないですね。
6	財政を圧迫してまで現状を維持する必要は全く無いと考えます。
7	中途半端に財源を費やしダラダラと維持していくのだけは回避して欲しいです。
8	中央公園プール・温水プールは、あまり利用されていないため、例えば、こてはし温水プールの利用に補助金を出すなどして廃止することを検討する。
9	中央公園武道館は、ごく一部の人しか利用していないので解体し駐車場にした方が良い。現在、利用している人は、他市の武道館を使って下さい。
10	利用頻度の低い所は、解体した方が良い。
11	施設は統合できるものは統合して立て替えを行った方が今後の為にも良いと思う。
12	人口割合が激変しつつあるのですから何より限られた予算の中で公共施設の統廃合有料など積極的に進めていく事が大切だと思います。
13	補強に多額の資金が必要な施設も廃止の方向性も考えるべき時だと思います。早く手をつけなければ大変な事になると思っています。
14	人口が減りつつある。これに伴い公共施設も統廃合が必要になる。統廃合した施設を新たに建て内容を充実して行けば、公共としてサービスは満足出来ると思う。
15	施設の利用状況によって統廃合もありだと思う。
16	ちまちまと自治体が多く、もっとザックリとまとめれば良いと思う。スポーツ施設もこんなにいらぬはっきりと切り捨てるべきだと思う。

17	統廃合して施設全体の数を減らすのが良いと思う。そこのスタッフを高齢者が担ったらいいと思う。
18	四街道市はベッドタウン的な側面が強いことから、子育てに必要な文化施設や運動施設の機能を強化していくべきだと思う。また、機能を集約し、合理的な運用、管理が必要だと思う。
19	地元の集会場の維持（器材）活動支援に財源をまわしてほしい。箱ものは利用されてこそ意味があるので、市の方で利用率を見て高いものは維持を低いものは廃止をしていけばよい。
20	「施設」としては必要と思われるが、利用の少ないものは廃止、統廃合が必要と思われる。
21	各施設が建てられた時と現在では人口のバランス（特に子供達・高齢者）が変わっていると思う。その点を踏まえ、存続させなければいけない施設等を選別する必要があると思う。
22	施設の必要性の再確認を徹底すべきであり、必要ニーズの低いものは、統廃合を積極的に進めるべきである。民間施設の利用を図るべきである。
23	公民館は正直不用と考えます。その分自治会活動の助成を行っていったほうが良いのではないのでしょうか？
24	公共性の高いものを優先し、低いもの（まずテニスコート、保養センター）は廃止していくべきではないのでしょうか。
25	利用頻度の低い施設の統廃合はやるべきだと思います。
26	今後、税収は減っていくことが予想されるので、一部の人達や建築してかなりの年数が経つものは、統廃合するのもやむを得ない。
27	今の公共施設で維持管理費大のもの、早急に統廃合すべきだと思います。
28	将来をみすえて、思い切った方向転換（施設の統廃合等）を実施すべきだと思います。
29	この数年四街道市は人口の増加はないようで昭和40年頃に建設された公共施設は稼働率を勘案して施設の維持費の軽減を図り統合
30	利用人数と維持費の観点から合併や廃止をして数を減らしていくのがよいと思います。
31	財政状況を市民に分かりやすく公表しアイデアを募って欲しい。公共施設は統合して使い易くし、様々なイベントや大きなお祭りも企画しお年寄りも子供達など誰もが参加しやすいものだと楽しくなりそう。
32	施設を統廃合し、駐車場を増やす。

33	もし、あんまりつかわない施設が遠くなって、不便になったら、もっと使わなくなると思う。ほんとうに使っている人が全然いないならこわしてもいいと思う。
34	廃館にすべき施設 1、鹿島荘 人件費等費用がかかるし、ごく一部の利用者しかいない。 2、わろうべの里 利用者少ないのに建物は重装備過ぎ。
35	天下り先と思われる公共施設も多々ある為、施設の縮小や廃止を実施し、管理運営費や人件費の削減を図るべき。
36	民間への移管も積極的に行うべきである。車社会であり利用したい施設が遠地でも必要性があれば利用する。利用頻度が少ない施設は優先的に廃止すべきである。
37	施設を積極的に統廃合し公共交通機関を充実させ全ての市民が利用に不便を感じさせぬ様にすべき
38	できる限り廃止 趣味は個人の資金で行ない、強いて公金は使用しないこと！
39	積極的に各施設の統廃合を行い稼働率を上げる等の方策が必要。自家用車、バス等の利用で統廃合も可能であるはず。
40	公共施設を新たに増築したりすると後々の維持管理が増える。出来る限り統合して廃止した方が良いと思う。
41	利用率が低いものは廃止、利用率が比較的高いもの同士で統合できるものがあればする。
42	統廃合後の長期にわたる活用方法も検討して欲しい。
43	公民館等については、利用頻度が低いと思われます。よって廃止の方向で考えたらいいのでは？ 鹿島荘も同じです。
44	対象施設が115施設ある様だが人口9万程度の我が市ではあまりにも多すぎる為、一つずつ塗りつぶしても（併用等）30施設程度は減少出来る筈だ。順次統合廃止すべきと思う。
45	利用状況等総合的に検討し集約化出来るものについては積極的に推進すべき。（公民館等）
46	公共施設を無料で使用できる時代は終わりにして、有料化にすることで市の負担を少しでも減らせればと思う。
47	今回の公共施設については統合や廃止を賛同します。しかし、小中学校の通学、周辺環境改善には喜んで税金を納めたいと思います。
48	市の財政から考えると施設の統合、廃止には賛成ですが、交通手段の充実を期待します。
49	公共施設の「品ぞろえ」をする必要は全くない。運営維持コストのゼロ化（ボランティア・無人等）、勇気を持って廃止を。

50	利用が少ない施設は閉めて、交通の便を良くして、中央に多くの人が集まるようにしたらよいと思います。
51	利用者の少ない公共施設は廃止すべきだと思う。統合を積極的に行うべきだと思う。老朽化している施設は利用したいと思わない。
52	直ちに統廃合して民間にまかせて商店街にすべし、公共施設は何も利益を生まない。
53	施設がありすぎるのに使用している人が少ない。統合して余計なお金を使わないようにしてほしい。
54	公民館は地区ごとで地区でも一部の人しか使っていないと思うので、市の文化センターのような施設にまとめてよいと思います。
55	統合した場合は必ずヨッピーを使用できるようにする。意味のない施設は廃止してほしい。
56	可能な限り統廃合し税金をなるべく使わない工夫。
57	一部の人しか利用しない施設は統合廃止したらどうか
58	利用者の少ないものは思い切って廃止した方がよいと思う。
59	今後の財政を考えれば施設の統廃合を進める必要があると思う。
60	市内に同じ内容の施設がある場合老朽化した施設は廃止しなければいけない事態（財政が厳しい為）だと思う。現況での需要と供給状態を調査し修理したり、廃止に持って行ってほしい。
61	施設の統廃合は止むを得ないと思いますが、災害時の避難場所としてのキャパを確実に確保してほしいと思っています。
62	市の財政状況を考えれば、このアンケートに挙げられた公共施設のいくつかは、閉鎖もしくは統廃合もやむを得ないと思う。
63	公共施設の利用頻度から少ないものは廃止すべきだ。
64	今後、税収の増加が見込まれない以上、公共施設を集約する。中央公園野球場、剣道場、プール等を総合公園運動場へ。その場合、交通の便を良くする。（バスの回数を多く）
65	小さい公民館はサークル等は残しながら、統合しても良いと思います。住みやすい四街道です。古くても補強しながらでも良いと思うので、市内の施設を利用したくなる様にして欲しいです。

66	古くは施設がなくて生活していた。施設の利用者はごく一部と思う。一部の利用者のために全体の税金を使うのは不公平と思う。全体に施設が大きく維持費が高くつく。20年近く前に図書館を利用したが係の感じが良くなく、その後一度も行っていない。千葉市の図書館は大きく、いろんな意味で利用したいと思った。施設の統合をすると不公平になるので全廃止で良いのではないかと、又は地域で維持すればよい。近くの人々の使用が多いから。
67	箱物は極力縮小する。なくてはならないもの以外は統合廃止すべきである。
68	公民館などは統廃合して各自治会で管理していく。総合福祉センターはわろうべの里と統合できるのでは？
69	市が補助金を支出した類似施設（例えば自治会館、青年館等）（民間施設と云うのでしょうか）も併せて統廃合を考えるべきです。

②学校の統廃合（問5-1に関連）

1	学校の統廃合及びその利用について再度実施すべきと考える。
2	学校の統廃合
3	山梨小を旭小に統合すべき
4	小学校の空き室利用や小学校の統廃合を検討した上で地域の施設運営を考えてほしい。
5	学校を統合して、必要な公共施設は空いた校舎をリメイクするなりして活用する。学校の利点は周辺の住民が利用しやすい、徒歩や自転車でいける。体育館やグラウンドもあり幅広い活動が期待できる。学校も思い切って断捨離し、時代に合った形にすべきでしょう。

③新築・建て替え

1	老朽化した施設では、いずれ管理運営費が追いつかない状況になると思います。耐震補強だけにお金をかけるなら、多様な用途に使用可能な複合施設として新築した方が、コストは押さえられると思います。
2	文化ホールは小さいものを作っても中途半端です。結婚式場の機能はいりませんが、しっかりした大きさのホールは必要なので新築を望みます。
3	施設の更新について、耐用年数で判断するのではなく、少しでも使用期間を伸ばし、市民の負担は軽減するような施策をして欲しい。また、高齢化が進み、高齢人口が増えるのは確実なので文化施設の充実化を図って欲しい市東部（特に鷹の台地区）に公共施設をつくって欲しい。
4	新しい施設を駅前に作ってほしい

5	文化センターがボロボロなので建て直してほしい。
6	武道館は建て直して台所や備蓄倉庫などを完備していざという時に避難所として使えるようにしたらよいと思う。
7	建替えの方が長い間使用する事が出来ると思うので、補強でその都度費用がかかるよりは良いのではないかなと思う。
8	建て替える所は建てかえ、改修するところは改修する。
9	安全第一！先を考えてどちら（建替・改修）かを考えて行なう。
10	新設すべき又は充実すべき建物 1、四街道図書館 現在の図書館は多階層に分かれてるので狭くて利用しにくい。ワンフロアにしてもっと広い1000㎡以上の図書館にすべきだ。そして開館時間を夜8時位まで延ばした方がいい。例) 佐倉南図書館 2、新設 高齢化時代に合わせ、お互いに孤独にならず語り合える場所（憩いの館）を中央公園近くに新設したらいいと思う。

④近隣の他自治体と共用できる施設は共同管理（問5-2に関連）

1	財政が大変なので千葉市等の大きな市と統合した方が良いのではないのでしょうか。（高齢化になる為）
2	統廃合した場合、代替できるものがないと困る方たちが多い。特に公民館などは。他市との施設共有ができるのであれば、とても良いと思いますが、吸収される側が不利にならない様、対等な立場で管理、利用ができると良い。
3	千葉市の施設を共同利用させてもらい、四街道の施設は統廃合を行なう。
4	他の市等と同じような施設の共有を考える。
5	小さな市が経済活動が少なく、他市との合併や共有出来る関係をつくる方向性を考えてみてはいかがでしょうか。
6	千葉市に近い為、そちらの地域の公共施設を四街道市民も使用できるといいなと思う。
7	図書館の本は千葉市や佐倉市と共有して借りられるようにすれば、運搬費は増えても図書の購入費が減り利用できる本の種類が増えるのではないかな。

⑤民間の資金やノウハウを活用（問5-3、-6に関連）	
1	民間企業では福利厚生施設は縮小している。公共施設も重複施設は民営施設をもっと活用すべきである。
2	民間に施設があるから施設を作る必要はない。無駄だな施設がありすぎる。施設を使いたいなら民間を使うべき、公共で作る必要はなし。必要なのは清掃工場と火葬場だと思う。
3	極力民営化を計るべし。民営化は単に運営面だけ民間業者に委託すると言うものではなく、NPO法人化は如何。
4	公共施設は民間に管理運営まかせ、有料にすべき。
5	市がなんでも管理するやり方は、今の時代にあわないです。豊富な知識を有する民間にまかせ、資金を活用するを、実施するべきと考えます。
6	民間の活用、統廃合を積極的に進めるべきである。
7	できたら、新しくできた文部科学省の庁舎のように建物に民間企業を入れることによって、建築費を大幅に削減できるといいのだけれども・・・。
8	現在は、利用頻度があまりないが、定年後利用すると思います。現在の施設を統廃合し民間と共同で運営をすればと思う。
9	各施設運営にあたり、民間を活用し、委託業者選定には条件を出す。市内の雇用者を6割とし、市内生活保護家庭や母子家庭等の雇用促進を計かる。建替え施設はシンプルに維持費が掛からない建物をつくる。
10	公共ではなくて民間であっても利用者にとって不利益感（高い、遠い、不便）がなければ、施設利用は継続されると思います。
11	民間のノウハウ、資金を十分に活用することが大事だと思う。（法の規制を解くことも・・・）
12	民間委託できるものは部外者に管理運営をまかせ、税金の無駄使いをしない。施設の利用状況を調査し、不要または利用頻度の少ないものは廃棄する。
13	民間に委託すべきところは委託し、雇用施策を図る。高齢化が進んでいるため、介護施設としてリニューアルし民間企業へ委ねる。
14	施設運営に民間やNPOのノウハウや人材、資金の活用、適正な受益者負担の導入
15	民間の活用

16	近隣の市と協力し、民間のノウハウ・資金を活用し、管理・運営は民間に委託する。施設にかかる設備の維持管理費・人件費等のコストを大幅に削減しサービスの質を向上させる方法があると思う。
17	スポーツ施設は民間にまかせて縮小したらどうか。
18	指定管理者に委託した運営を実施すべきではないか。
19	公民館などのコミュニティ関連施設などは、一部の人が利用している感があるが統合などでまとめて減らしたりしてはならないと思う。周辺の人々の管理や民間資金をとり入れて継続出来たら良いと思う。民間資金導入に当たり、やたらな制約をさげ、リニューアル資金等のためにも営業活動の自由度を高められるようにしてほしい
20	民間の施設等で代用できるものは活用したり、民間企業と連携した運営を考えてみる。
21	公共施設は防災としての役割なども大きく、施設を無くす事はできないが民間との協力を強め箱物を減らし維持や建設費を減らす。

⑥区や自治会、利用者が運営管理（問5-4に関連）

1	特定の人や団体が使用していることが多いと思われるため、それほど規模の大きくない所はよく使用する団体等に管理運営を任せても良い。
2	地域に密着した施設は区、自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する。
3	身近にある街区公園などは、地元で主に使う公園なので、地元の自治会等が管理（草刈りやゴミ拾い程度まで）すれば、その分の財源を施設の更新に充てる。
4	公共施設の清掃は、使用者がするべきだと思います。
5	施設を統廃合して管理運営は所在の区・自治会が管理すべきです。
6	利用者が少ないからと言ってすぐ廃止していいとは思わない。だが維持・管理に必要な掛かるのは必至。中央（四街道の中心的という意味）施設を数本に絞り、公民館などは各地域の方で負担すべき。負担が出来ないということは利用者が少ないと言うことで、廃止やむなし。

⑦【建て替えは行わずに補強・改修などして現状維持・統廃合しない（問5-5に関連）】	
1	高齢者も利用したくなる施設・設備へ改善してゆく。高齢者優遇制度も含め。現存の施設は安全が保たれる範囲内でできるだけ長く利用できるよう補修・改善でやりくりし、施設の建て替えは毎年の予算が不均衡にならないよう、長期計画を立て優先順位をつけて実施する。それも不可能であれば、利用料が高くなるが民間委託も仕方がない。
2	高齢者は、なかなか遠くまで自分の力で行く事ができないので、やはり何でも統廃合というのもどうかと思います。
3	文化センターは発表会やコンサート等の市民のイベントや子供たちのイベント等で使用できるので残すべきだと思います。
4	小さな施設については、利用者が偏っていると思われます。ご年配の方々が歩いて行ける施設や憩いの場が減ってしまうのは良くないので規模を縮小しても残してあげるべきだと思います。
5	施設の運営・管理は人もお金もかかることなので大変でしょうが何とか維持していける方法（世代別の料金設定など）をお願いします。
6	建て替え等なるべくしないで今あるものを直しながら使っていく方が良いと思う。
7	文化センター、公民館、図書館、体育館、運動場、プールなど利用者の多い施設は残す。
8	新しい建物を建てるよりも補強工事や耐震工事などを行って、負担の少ない形でやってもらいたいと思う。
9	施設は毎年有効な点検、補修をすると、少額の補修費で長期利用が可能となる。不具合が見つかったから対策では遅すぎる。
10	公民館等は各地域に必要な建物だと思う。近くで運動が出来る事は良い事だと。車の運転が出来なくとも自転車で参加出来るので統廃合はしない方が良いと思います。
11	増々高齢化社会に突入するに当たり、公共施設を統合・廃止することになると、各公共機関が遠くになり利用の頻度が落ち不便を感じると思う。
12	今ある施設の補強改修等を行い、建物自体の寿命を伸ばして長く使用していきたい。今後の高齢化社会に伴い、住民の減少・財政状況の悪化は想像しやすいので新たな施設建設は望まない。
13	様々な状況を把握し、新設ではなく改修工事で対応していけば良いかと思います。
14	市民会館や図書館は、学校行事などで子供達が利用する機会が多く、今後も維持していただきたい設備です。

15	<p>公園や公共施設（建物）等は、いつ来るかわからない大きな災害時のためには、必要です。管理・維持費は大変かと思いますが、できるだけ（廃合は最低限にして、新たにつくることはできないので）修理しながら存続していただければありがたいです。</p> <p>利用者数が少なかったり、限られている等の施設は、統廃合も仕方ないです。（しかし、できるだけ最低限にして）</p>
----	---

⑧利用者が費用負担（問5-7、-8に関連）	
1	利用する者がそれなりの利用料を払うのは仕方がない。利用料は、市外の者と差をつけるのは市民優先を考えれば仕方がない。会員制も取り入れ、年会費を払えば利用料は取らない方式も。利用できる施設の組み合わせで会費の額に差をつける方法もある。会員制の方が収入は大きいと考えるし手間も少ない。自動入場機の設置も可能(人件費節減)。
2	どこの施設も少しの額の入館料を取るようにして、財源に当てて欲しい。
3	使用人数が多くても、同じ人が使用している場合が多い。公民館など特に多い。一部有料がのぞましい。
4	使用料を上げ、財政負担にならないようして下さい。
5	公共施設は使う人とまったく使わない人にわかれます。使う人はやはり多少の使用負担をすべきです。
6	人数が多くなければ貸せないとかやはり有料にする必要もあるのではないのでしょうか。
7	利用している人としていない人の差がありすぎる。お金がないなら利用している人からとれば良い。
8	利用者には多少な料金を払ってもらった方が良い。
9	受益者負担の原則で公民館などは利用料は徴収すべきである。
10	今後は利用者から使用料を頂くことにする。
11	もっと一般市民に利用してもらえる様に、その施設毎のアピールを市民に伝え、利用者を増し、利用者から利用料金を集め市の負担額を減らしたい。
12	図書館は小学生より上は料金を少し取っても良いのでは？施設を減らしても上質なサービスで利用者を増やして定額料金でどんどんお年寄りや子供に沢山利用してもらいましょう！！

13	公共施設は数多くあるが、これまで一度も利用したことがなく、これからも利用しないであろう施設もある。各施設の改修費用などはその施設の利用者から使用料として徴収するのが妥当ではないだろうか。
14	公民館等のサークル活動については、一部有料化により、維持、管理費の確保を検討すべきだと思う。
15	公共施設を維持するためには多少の使用料を払っても、仕方ないと思う。
16	みんなで利用して活用できるのだから運営するぐらいの収益はみんなで支払って利用すべきです。
17	18ある公共施設、他の市町村でもある施設です。市議会でも財政問題に質問が集中しておりますが、市内公共施設の使用料、手数料など見直しを図り有料化すべきである。
18	現在ある施設も利用されない方々も多くいますので、使用者は軽い負担金を払って使用することが財政状況を少しでも良くしていけるのでは・・・と思います。
19	今でもテニスコートや体育館等利用しているが、今後の修繕費などを考えれば少し値上げしてもいいのではないかと思う。
20	公共施設は必要最小限にするべきです。施設の管理運営費は原則利用者負担に重点を置くべきです。
21	無料の施設などは、一般の利用者から少しお金をとるようにすること、知名度を上げ利用者を増やすことに取りくんでいけたらいいと思う。
22	利用出来る施設があることは楽しいことです。ただし維持していくことは財政面で大変だと思います。利用者には多少なりとも施設料を納めるようにした方が良くと思います。
23	公共施設を利用する人も高齢化してます。改修工事が出来る所は良いが、出来ない所は建て直しをしなくてはならないので無料ではなく有料に
24	有料制にしてほしい。無料だと自由に使ってしまう。冷房暖房費は時間単位で料金を徴収した方がよい。
25	公共施設の利用者は人により利用度の多少がある。今ある施設を統廃合し、利用者負担を税金の使い方を公平にするためすべきである。
26	少子高齢化で税収が厳しくなる一方になる事でしょう。公共施設を利用している方には申し訳ありませんが、有料にすべきだと思います。
27	財政がきびしいと感じています。だから何もしないのではなく計画的に進めていって、利用者負担も少し考えてもいいと思います。市民もしてもらって当然ではなく、できることは皆でやっていく事が大事だと思います。

28	現在ある施設は、文化センター等、必要な所は維持できるよう、催し物の内容を見直し、利用者から利益を得られるようなものを実施し、資金を充てがうなど工夫すべきだと思う。
29	無料ではなく少額でも利用者が施設を使う時に使用料を払うのは仕方がない事。管理費程度に使用料を取る事を考えては・・・。私のように利用しなくても税金から維持費が支払われるのだから使用者は使用料を支払う事でこれからも施設を長く使えるのではないかと思う。
30	経費削減の努力の上、財政が厳しい中では利用者負担は致し方ないのではないのでしょうか？
31	公共施設は利用する人が限られるので、平等に考えるなら利用する人が多少の使用料金を負担することは当たり前だと思います。その分使い易くなり気持ち良く利用できるのであれば、自分なら納得します。
32	市職員が関係しない団体の行事で、室内を利用する時は子供会、老人会を除き、光熱費として1時間当たり1000円の利用料を徴収する事。
33	わろうべの里を利用させてもらっていますが、利用料が取れないのであれば冷暖房費ぐらい取ってもいいのではないですか？先日もひどい雨漏りをしてました。利用者に寄付金を募るとか利用者に協力を求めてもいいと思います
34	施設を利用する際に、サークル等や一部の人だけが占有している施設等については、受益者負担としての料金設定を行い、少しでも運営管理費に充てるべきではないかと思います。
35	現在、無料のものも有料にする。ただし10円から100円ぐらいまでに！
36	公共施設も、今後の税収を考えると、多少の有料化は仕方がないと思うが、有料化しても一部の人々だけが利用するのではなく、場所を提供することで設備（道具、用具）の貸し出しを有料化し、多目的利用が可能になるのではないか。

⑨市の支出を減らす（問5-9に関連）

1	税収も少ない時期、市もハデな支出は控えてよいと思います。
2	シンプルな行政に努め、経費の増は極力止めるようにお願いします。
3	毎年くり返される年度末の道路の舗装は、まだ必要のないものもある。これを節約して施設の維持・更新の原資にすべき。
4	生活保護費、医療費の圧縮を必ず実施して、財源を確保する以外施設を継続することは不可能、住民税等の増税は認められない。断行すべき。
5	市職員、議員数等見直すべきであります。行政サービスも有料化しても良い。

6	市民各々の求めに応じては、いくらお金があっても足りません。公共サービスも縮小し、支出を減らすようにしなければなりません。
7	使用していない無駄な人件費、維持費がかかるものは除いていくべき。
8	職員（市）の数も減らしパートなどで忙しい時間帯をよく調べて人数を決める（時差出勤） まだまだ民間にくらべてコスト感覚が市役所はあまり考えていない気がする無駄な面をよくみつけること。
9	以前にくらべれば少しはよいが市の赤字財政を認識すべき。玄関ってすぐの受付の人の人数も多くありませんか？交代も含め2人で充分。地元住民で大体の事は分かっているが。
10	節電も明るい昼間は室内の行事（サークル）等でも電気をつけないよう心がけている。市の公報誌のカラー印刷高価なので白黒印刷で充分伝えておいて下さい。
11	市政全般にまだまだムダが多い。要工夫！特に「箱物」は縮小すべし！
12	夫、子が駅の駐輪場を利用してます。年1回か2回、文化センターへ自転車登録をします。その際、感じるがあります。“暇そうなのに、人員が多いな”と思います。市でのこうした無駄な人件費を削って施設の存続につなげてほしい。民間で出来る仕事量を倍の人員を使ってるようにみえます。ぬるま湯に使ってないで、人を削って効率よくやってほしい。
13	人口の数だけ欲望はあるが、全てに対応は不可に付、財政とのバランスを取り、最大公約数のものに投資すべし
14	お金を使う所は使い、節約する所は節約を！
15	収入に合った運営をすべきである。

⑩市の収入を増やす努力（問5-9に関連）

1	新しい産業の導入や、現に有る産業の育成(特産品、ブランド品の育成)など、市の収入を増やす産業を育てることが重要であろう。
2	国から補助が出るならいいが、税金を増やして予算を増やすというのはよくないと思う。ただし、目的がはっきりし、賛成できる場合は税金が増えてもしょうがないと思う。
3	少子高齢化に伴う税収減により、公共施設の維持管理が難しくなっていることは理解できるが、「企業誘致」や「若者の住みやすさ」などの税収を増やす施策を積極的に実施する必要があるのではないか。
4	市として税収を増やすことを考えるなら「ふるさと納税」に力を注ぐ事も良いかもしれない。

5	余計な施設、利益のない施設は一切不要！！その土地を安く企業に貸して法人税UPとか昔ながらのルールやしばりに負けずに変化、進化を！！
6	公民館も必要です。建物の1部を貸店舗にして収益を出してはいかがですか？コンビニ、不動産屋等 建て替えた方がいいです。
7	四街道の特産品を見つけるべきである。
8	活気ある市民、住み続けたい街とはどうあるべきか総合計画でも述べられている訳ですので、税収増に力を入れていただきたい。
9	税収を多くする努力も。（管理部門など企業誘致の必要あり）
10	施設の建て替えや改修などはお金がないならやめるべきです。まずは、人口の増加など収入をふやす努力をすべきです。
11	市民ギャラリーや青少年センターのある所の土地を民間に貸して、スポーツセンターを作ってもらい、その土地の収入分で四街道市民は利用料を安くしてもらおう。

⑪PRして利用者を増やす	
1	各施設はそれぞれ特徴を持たせ、同じ類の施設でも別の目的で訪れ利用できる工夫をする。と同時に広報を充実し市民や近隣の市町村に施設の特徴やイベントを知ってもらい利用率を上げる活動をする。
2	各施設の内容や利用の仕方をもっとアピールする事も必要。
3	各施設で何を行なっているかアピールして稼働率を上げて行く。
4	“わろうべの里”や“福祉センター”の情報が弱く、まだ一部の人しか利用していない。もっとアピールし、施設がもう少し活用されればと思います。 ※駅の告知ボードなどに大きく貼るなど、目につきやすく！
5	使用料は無料に近い金額で広く、多くの人に利用してもらおう。その為に広報活動する。
6	文化センター内のレストランの利用度が低いと聞きます（あること自体知らない人がいる）PRするか運営方法について検討する必要があるように思います。
7	多くの人がネットで情報を調べてから利用すると思うので、もっとホームページを充実させてもらえると行きやすくなります。
8	福祉には金がかかるという事をもっとPRすべきでは。バラまき行政は良くない

9	各施設のPR等、利用させる事を考える必要があるのでは。公共施設の充実や存続は成熟した市（行政）にとっては、不可欠だと思う。
10	どの施設でどういう行事が行われるかひと目でわかるよう広報して頂きたいです。
11	文化センターについて、もう少し常に宣伝してほしい（内容を）大々的な発表会など（有料）はわかりますが、その他のものについて、常に駐車場がいっぱいのため何の催し物かわからないです。
12	公共施設で、どのようなことができるのか（やっているのか）、どうやって利用するのか、駅等にわかりやすく張るなどして、市民の関心や、市民に近いものにすべきではないでしょうか。
13	公共施設はもっと存在をアピールして駐車場などを増やし、駐車場が無理なら無料バスか100円バスなどつくってほしい
14	広報的なものをもっと行ってくだされば使う方々も増えるのではないのでしょうか。
15	各施設利用方法等を市民にもっとアピールし、施設があつて良かった、利用して良かったと思える施設であつてほしい。
16	各公民館・国民保養センター鹿島荘の利用状況を広報で明確にして、存続の検討判断が出来るように市民へ情報提供する。

⑫魅力ある施設に

1	四街道市に居住している子供達が「四街道市に将来も住みたい」と思わせるような、若年世代若年ファミリー層が魅力を感じず『公共施設』が何よりも大切でしょう。
2	現行の公共施設を魅力ある施設にする。 ・参加したいと思われる催し ・心地よい空間の提供 ・特徴のある運営（民か官かでなく民や官の）
3	施設自体の魅力と交通アクセスのバランスだと思います。
4	特長のある魅力的な市となる事を期待しています。民間にまかせる事は様々な問題があるので公共物を望みます。

⑬他自治体を参考に	
1	枚方市の生涯学習市民センターなど全国の自治体の取組や画期的な対策成功例を集約して検討して市民に提案して欲しいです。
2	全国的に見ると、公共施設を優れた形態で運営している地方自治体が多数あると思う。優れた運営とは、住民が喜んで利用していること、コストがバランスよくとれていることである。優れた運営をしている地方自治体に見聞に行き、ぜひ参考にすべきと思う。今回のようなアンケートも必要であるが、他の自治体を参考にすることはもっと重要と思う。

⑭その他の提案	
1	色々反対の声も多いようですが必要な物で使い易く気分よく利用出来る施設は必要！！
2	公共施設の在り方を問うならば、①設置目的と利用対象者層 ②運営コストの利用者負担の有無 ③（民間業者を含めた）運営主体などが不明確な現在の市の姿勢ではいずれ行き詰まると思う。
3	子供達が生活、成長していく中で必要な施設は民間のノウハウや既成概念に捕らわれない大胆な取り組みも必要だと感じます。
4	①現公共施設の新設及び建替えではなく補修、補強等によりリフォームで使用期間の延長を計る。 ②財政に余裕が出来た時点で新設等を検討したらと思う。 ③統廃合により施設の削減を計る。
5	現在の学校や公共施設を利用して、保育園や幼稚園、老人ホームなどが出来ませんか。
6	今後の少子高齢化のシュミレーションを行いあるべき姿を明確にし、市民が負担すべき費用と受けるサービスの関係を示すべきと考えます。
7	施設で優先すべきは、特定の年齢を対象にしたものよりも、全員が利用するものだと思います。
8	①市の中央に文化センター、図書館、室内スポーツ施設、高齢者施設（できたら映画館も）をまとめ、レジャーエリアとする。
9	②そのエリアを囲むようにバス路線を確立し、市内のどこからでも行けるようにする。
10	障害者の利用にお金を使い老人の孤立化の予防に役立てていただきたい。
11	子育て支援施設の拡充が必要と思います。他を削っても。
12	現在、無料の施設を有料化するのはあまり良くないと思います。

13	公共施設の維持、更新は市公開入札方式 予定価格を市のホームページで公開する。
14	施設を使用する為に制約がよくわからない事もあり施設毎に様々なので統一したり、他市に使用者が流れて行かない工夫等も必要と思われます。
15	中央施設、例えば文化センター、図書館、わろうべ、総合公園（各施設）はきちんと整備し、かつ他の施設分も考慮し増設してはいかがか。
16	いつかは建替えしなければならないと思いますので、補強という処置はやらない方が・・・。
17	市の規模に対して公共施設が揃いすぎている印象を持っています。その割に図書館が貧弱です。アンバランス。
18	公民館や集会所の機能を小学校内に設けるといのはどうでしょうか。各世代からの距離もちょうどよいのでは。
19	必要な施設と不要な施設を明確化して改修、増減、継続利用（そのまま）などを判断していくべき。
20	小学校や中学校など子育てに必要な物は大切にしていけるべき。
21	単に施設の統廃合だけでなく、今後増やさねばならない施設等も出てくると思う。
22	文化センター、図書館は中心であり、文化的行事等重要な役割になると思うので、むしろ拡大していくべきと思います。
23	30年位（建築基準法改定）を基本として、古い施設は新築する為の計画財政が必要ではないかと思います。
24	中央公園武道館は総合公園体育館へ移す。
25	自身で歩いて、自転車や自動車を利用したり親子さんの力を借りて施設を積極的に使用できるような世代、子供達の事を優先して考えた施設作りをしてほしいと思います。
26	今後の地震等に備え補強、改修を行いこれからの高齢化に伴い、高齢者が自宅以外の公共施設が利用しやすいバリアフリーな憩いの場となればと思います。
27	公共施設は少子高齢化による子育て支援施設や福祉施設を市独自の特色ある施設としたい。
28	複合施設をつくって、上記施設や医療、4D映画館、商業施設等入居を考えたらどうか。
29	文化センターはもっと良くして5000人以上集客のステージを作り、コンサートやイベント、スポーツ（プロレス、すもう等）地方興業に利用し利益を上げるべき！！

30	スポーツ施設は1つにした方がいいと思います。総合公園までの道路の道幅が狭く、自転車では危険です。
31	図書館も必要です。駐車場がすぐいっぱいになり、止められないことがあります。
32	市民の人口減少を食い止める為に、子供世帯に優遇制度を充実させるべきである。
33	建物だけでなく、道路の維持管理、上下水道のリニューアル、充実等々も同時に考えていかななくてはならない。
34	中途半端な施設が多いので、きちんとした施設を1～2つ作り、利用者の為にシャトルバスの運航を考えた方が、安上がりではないかと思います。
35	公民館や図書館の分館は、小中学校の空き教室を活用して学校にコミュニティセンターの機能も加えれば人とのふれあいもできてよいと思います。
36	防災の面から建て替える場合、老人ホームと共同（例えば1階が図書館や体育館で2、3階が老人ホーム等）にする。
37	ヨッピーの路線を増やして、文化と居住または医療と居住などは、必ず複合施設として遠くでも行く価値のある施設にする。
38	避難所としても使う事を考えると、市内に点在させておく必要がある。包括センターや市役所の出張所も必ず各施設に入れる。
39	利用率が高い公式スポーツイベント等に使える施設を充実することも一案。

2. 四街道市への願いの意見

1	小規模なホールがあっても良い。(身の丈にあった活動)
2	温水プールまでバスを発着すべき
3	わろうべの里を良く利用させていただいておりますが、まだ建ってそれほどでも(年数)ないのに雨もりがひどい。
4	高齢者にとって、気楽に集まれる官(公)の施設は大切です。
5	緑地を守って下さい。物井地区の緑地は、すっかり減り残念です。
6	今あるものは最低限度の必要な施設だと思うのでこれ以上減らさないで頂きたい。
7	だいたいのがが駐車場に困るので、本当にどうにかしてほしい。
8	文化センターは大事にして欲しい。二階の部屋で壁が古くなっていたのを以前見ました。文化センターは、町の代表的な建物。手入れはすぐに行って欲しいです。(70代主婦)
9	文化芸術芸能施設はこれからの市民生活をより充実させる上からも必要。
10	自転車駐輪場の駐輪台の巾が狭いため自転車が他の自転車のカゴ等が邪魔になり駐輪出来ない。自転車の規格も大きくなっているのを改良してほしい。
11	公民館はどうぞこのまま続けていける道を見つけていただきたい。
12	総合公園体育館はもっと市民が借りやすい親しみやすい施設のあり方を勉強してください。
13	総合公園はもっと市民が使いやすく考えた施設であるよう努力してください。
14	物井駅、道は狭く、駅周りも狭いし、何も変わらないのがっかりしました。もっと人や車の流れがスムーズにいくようにならないのでしょうか?
15	せつかく駅の周りを改善するならば、保育園や病院を作って、若い夫婦に働きやすくすれば、若い層の人口が増えると思います。
16	弓道場のような中途半端(的までの距離が短い)な施設の建設はしないでほしい。豪華ではなくていいので、しっかりとした使いやすい施設をお願いします。
17	図書館で勉強するのに、時間が限られてる時があったので、もっと広くして多くの人に満足してもらえるまで長く使えるといいと思う。
18	図書館を使いやすくしてほしいです。

19	車を使わず近くの施設に行ける事は大事だと思います。
20	一番気になっていたことは文化センターと図書館の老朽化。市民の声や希望を吸いあげて、部分的な改修ではなく全改築を希望します。
21	各施設とも駐車場を確保することが必要。
22	退職後の生活を考えると、公共施設の利用が増えるかもしれないので、できるだけ維持してほしい。
23	キャッチボールを出来る施設、空間が無い。別に新たに作成する必要等勿論無いが。
24	図書館の老朽化が気になる。児童向けは本が収納しきれていない。広くてきれいなものに建て替えてほしい。場所は同じ所で。
25	八千代市にあるようなセントラルと共同運営のようなスポーツ施設があるとよい。
26	市役所の近くで。点在する公民館をなくし、その図書館内のみとし、バスなどを運行させる。
27	四街道市の図書館は狭ま過ぎます。本を選ぶ楽しみもない程です。本が横に並んでいる状態は残念です。広く明るい図書館を希望します。
28	もっと近くにスポーツできる場所（バスケ、サッカー、野球、テニスなど）を作ってほしい。映画館やラウンドワンなど遊べるところもあってほしいです。
29	防犯対策街路灯、監視カメラ等の設置（最重要課題）
30	子供が利用できない公園は不要（老人がゲートボールにのみ占拠）
31	施設より道路、上下水道などの整備
32	安全面だけでなく衛生面にも目を向けていただきたい。
33	公共の芸術の場をつくってほしいと思います。年に1度の市民展、市民講座、市の美術館など。
34	老朽化した施設は、安全性も疑うし見た目にもよくない。補強など考えるより、強固で耐久性のあるものにした方が良いのではないだろうか。
35	図書館に関しては蔵書もよいとはいえないし全体的に見直してほしい。
36	中央公園のトイレが汚すぎて使えません！！子供も安心して使えるような清潔で外から見えないトイレにしてください！！

37	駐車場のスペースを広くして下さい。（数と巾、長さ）
38	吉岡小学校地区は千葉市と共有にして欲しい。
39	車を運転しない、又、足腰が弱い高齢の方が外でコミュニケーションをとることがしやすい街にして下さい。
40	駐車場が必要。公共バスが使えません。特定の団体の利用固定化はダメ。大日在住者です。総合公園は遠すぎます。市の中央がよい
41	地域に便利な公民館は必要です。四街道公民館や鹿放ふれあいセンターは利用度が高い。
42	第2庁舎の市民ギャラリーは残すべき。
43	中央公園プールについて 梅雨明けから9月中旬まで利用させてほしい。プールの清掃を心掛けてほしい（土と木の葉など）
44	公共施設の活用実態を公表してほしい（廃止や統合を分析し、意見具申するため）
45	武道館こそ、建て替えの方向で考える時だと私は思っています。
46	市民の一部の人しか利用していないのでいい。趣味をもっている人だけが利用するのは多額の税金を払っている者としては納得がいかないです。とても現役で忙がしく、利用してられないから。
47	同じ目的の施設が多いと思います。公共施設より民間のレジャーやショッピングセンターの方が利用されると思いますので、道路、交通の整備に力を入れて頂きたいと思います。
48	空き家を利用してふれあいコミュニティーセンターの様な施設が出来ればと思います。大きな施設は維持費がかかり不要です。
49	市内バス（ヨッピー）が一部運行しておりますが、市全体隅々まで運行できるよう願います。
50	スポーツをする場所をもっと作った方が良くと思う。
51	他の施設を見直し、図書館を充実させてほしい。市の財政が潤うためには、やはり企業誘致が必要だと思う。もっと積極的に取り組んでいただきたい。イオンはその後建設はなくなったのでしょうか？
52	図書館の充実を図ってもらえないかと思う。委託になって利用時間や蔵書はずいぶん変わったと思うが、館内で本を読むスペースや自習室の確保はもっと出来ないのだろうか。
53	四街道の特徴である“松並木”、松が数えるくらいしか残っていない。植樹をして、“松並木”と胸を張って言える景観にしたい。

54	小学校等の空き教室の利用は出来ないのでしょうか。老人の行く場所を作って欲しいです。
55	財政負担を考えると今ある施設がどうしたら皆が使用しやすくなるか建物以外からも考えて欲しいと思っています。
56	節約という事では花壇の花はあんなに広範囲に必要ないと思います（年2－3回）。都賀のようにちょっと大きな植木鉢に季節の花で充分です。
57	施設の統廃合となれば、高齢者や子どものためには交通アクセスの確保が必須と考えます。自家用車を使えない人のための対応もセットでお願いします。
58	住民税めっちゃ高い。いらない施設費をまかなうより、保育園代を安くしてほしい。月6万1500円は、きついです。2人目考えられません。四街道にあるどの公共施設にも魅力を感じません。必要ないと思います。ムダな税金です。
59	・老人介護施設と保育園を兼ねた施設が有ったら良いと存じますがどうでしょうか。・文化センター内に高齢者も気軽に寄れる食堂が有ったらどうでしょうか。・車イス等でも見学出来る花木の公園が欲しいですが、いかがですか。
60	公共施設の統廃合は、必要なことと思います。それにより不便を感じる方々もたくさんいらっしゃると思いますが、それを補うために公共の交通手段を充実してはどうでしょうか。
61	四街道市は、都市と農村の共有した魅力的な市です。四街道市は、地域のボランティア活動の盛んな市だと感じました。面積は小さいので便利に公共施設へたどりつけます。市の中心部に公共施設が集約するのは賛成です。それでも交通事情ゆえ子どもや年配者が常日頃利用できる公共施設は自宅近くに限られると思います。統廃合してもちょうど良いポイントごとに公共施設を置いてほしいです。地区によっては生活する年齢層も特徴があるので、必要な施設であれば、老朽化してるのを補修して利用頻度や利用者数から統計して残してください。ボランティア活動の拠点となる公共施設は残してください。
62	多くの方が利用しやすい様、以下の改善を希望します。①四街道公民館 便利な場所だが、車が必要な場合あり、駐車場の拡充を。②千代田公民館・総合公園 バス停が遠すぎる。どうにかならないか。③鹿放ふれあいC 階段が辛いシニアの為に、他の館同様エレベータの設置を。○公民館等の室料有料化に大賛成。そしてせめて壊れている備品は中古品で良いので使えるものにして欲しい。○災害時拠点となる公共施設はなるべく存続してほしい。その為に地域の皆に愛着を持って貰える様、普段から多くの方が出入りする機会を作って欲しい。（防災や救急など単発講座は良いチャンスと思う）又、例えば草刈りなどは、盲学校や学校でやっている様にボランティアを募ったらどうか。
63	公共施設へのバスのアクセスが今はない。時間で施設前にバス停があるような（例えば千代田公民館などバス利用してもそこまで歩くのがすごく大変で利用しにくい） 便利性を考え、右廻りでも反対廻りでも考えて利用者には無料でなく安いお金で施設を皆に公平にしたらどうか。利用団体も1つのサークルで多数利用している場合もあり考えものと・・・思う
64	シニア向け、老人向けの憩の場的なものを各施設で設けていただけると今後、年配の方が増えてくると思うので・・・。

3. その他の意見（分類できない意見）

1	四街道市は現状でも他市と比較し極めて公共施設や公共サービスが少ない状況です。
2	まず市政の効率化を図り無駄を省くべきでは。非効率的対処法。まずそこから改善して下さい。
3	頑張っている職員も多いと思いますが市民の目には「お役所仕事」の無駄があまりに多く映っています。それを改善せずサービスを減らすのでは市民の理解は到底、得られないでしょう。
4	市役所の人数の多さは、他の市と比べると“レキゼン”施設を含めて、千葉市との“ガッペイ”をもう一度考えてみる必要がある。
5	たまにこのようなアンケートが送られてくるが、謝礼もなく、一方的で、忙しい子育て中の時間を取られる事が残念である。また、施設の建て替えのお金が必要だと言いながら、アンケートがカラーであったり、集計にお金をかけたりするなど、お金の使い方として疑問を持つ。
6	図書館については、建物自体が古いものもあるが、本自体も古く、少ない。「子育て日本一の市」というなら、市として教育にもお金をかけたいが、図書館の利用も少ないのに教育に力を入れられるのだろうか。そんな市で子どもを育てられるのだろうか。四街道市に住んで6年、周りに年寄りしかおらず、今回の施設を使うのも年寄りが多い。市政だより等を見ても年寄り向けの情報ばかり。一方で公民館を使用するには市政だより、公民館だよりのみでしかことができず、そもそもそんな方法で利用者は増えるのか？休眠している時間が多い（使用している時間のない）施設は、やり方を考えるのも市役所職員の新しい職務なのでは。
7	さらに節約するものとしては、市議会議員の報酬、同じく市職員の適正化を図る必要がある。市職員は見た目には多すぎると思われる。
8	維持費の算出方法が、試算ソフトを使用しており実情を考えていないため維持更新費用の1083億円の根拠が確実でない。国立競技場と同じ状況では？
9	使用料金の変更を考える前に、市の予算全体の見直しも必要では？
10	このアンケートを回答するための情報（各施設の利用状況や規模等）が少なすぎて正確な回答が出来ません。
11	グループの中に入れないとといった状況をみるにつけ、会費は一律であり、言いたい事があっても言いだせない。
12	その中には人集めに施設を使い、他方でお金設けさえしていて、その仲間達は十何年やっていると年数で権力を持って規則のようなものが出来あがって従がわない者はいじめて追い出す話も聞いている。

13	このアンケートに有効性を感じない。このアンケートにかかる費用を施設補修費に使った方が 良い。 参考資料が一方的な見会で作成されている。これを参考にアンケートに答えると一方 的な回答に偏る。
14	昔からある公共施設は今のニーズにあっているのか？利用者があまりにいないものに維持費を 使う事が良いのか。
15	昔のしがらみにしばられた行政、改革はしないでほしい。税金を使用する事になんの抵抗もな くなっているのでは？形式ばかりではない運営をお願いしたい。
16	図書館が古い、本も古いのでもう少し新しい本やきれいにしてほしいです。八街図書館を知っ ていますか？すごく良いです。いつも八街に行っています。本は何冊も借りれる。きれいで新 しい本をそろえている。人の感じが良いなど）八街を勉強して下さい！！
17	ヨッピーは市税運営ですか？もし市税が使われているならもったいないと思います。四街道市 はムダな物が多く、本当に必要な物がなく、とても不便な市だと思います。わろうべの里もヨ ッピーも最近のものですがよく考えて決定すべきです。
18	議員だよりも拝見するとくだらない議論も多く私のまわりには、頻繁に有休をとる公務員もい ます。議員も公務員（特に市役所）も減らせるんじゃないでしょうか？私はできれば市外に転 居したいです。
19	税金の無駄使い！
20	職員の数を調べてみて下さい。佐倉市は人口が16万人なのに職員は800人です。当市は人 口がその半分なのに職員の数はほとんどいやもうすぐ同じになる予定です。入れ続けているか らです。佐倉市は市役所へ行ってみてわかることがあります。職員が忙しくて走っています よ。当市は走っているのは夕方5時すぎ早く家へ帰りたくて道路を走っているのです。人が多 すぎて暇そうにしています。どうか今すぐ職員の数を減らしてまともな市政にして下さい。きっ と今に、天罰が下るでしょう。なぜなら「天にツバをする」行動だからです。クリーンセンタ ーの移転の話も全く立ち消えになって、みそらの人達をいつまでもだまし続け、市民をだまし 続けてこのままでもいいと思っているのですか？なさない市政です。「政愚は愚民にふさわ しい」といいます。しかし、一寸の虫にも五分の魂といいます。いつまでもだまし続けていら れないと思います。名もなき市民より 二〇一五年九月二日
21	一つ一つの施設によって違うから、一概に何とも言えない。
22	サークル活動をこえて謝礼を受けとっている講師がいますが、管理側は書類上だけでなくよく 内状を調べて施設の貸し出しを行ってほしい。
23	大変有意義なアンケート調査です。練りに練ってこれから成長する子供が当市に長く住み続け もっともっと発展される事を望みます。
24	廃止することは簡単ですが再度作るとなると大変ですので、この点をご理解の上統廃合を検討 すべきと考えます。

25	通りいっぺんの施設でなく、もっと市民一人一人の立場を考え（身に自分をおきかえて）考えよ。知恵を出せ、そして汗をかけ もっと！もっと！
26	近隣及び一部の人達の利用しか施設が多くある様に思われる。市民全体の活動（健康増進）等を人、金で積極的に支援して各施設の利用を図ってもらいたい。
27	全て市民の目線で考えて下さい。
28	特定の団体等が施設利用を既得権化しないこと。
29	各施設のキャパシティ、利用者数、周辺人口、利用者あたりの管理費用を開示してのアンケートとしてほしかった。
30	市の提供する役割（施設）は十分すぎる状態でないでしょうか。
31	市が人口の狭いところに対して施設を提供する必要はないと思いますし、市が便利すぎると、自治会から脱退、もしくはそもそも不要と考え、地域のコミュニティー形成が難しくなってしまう、本意でなくなってくると思います。
32	たとえば自治会館を例にしますと、自治会活動は一部の決まった方達が30年も40年もグループができていて、その他の人達は、何一つ参加しない、又できない。
33	千葉市や他市町村、他県の取組みも参考にしたらどうか。
34	思い切った街づくりを応援したい。（各年代を考慮した街に・・・。）
35	早急に検討委員会を設置し検討が必要。
36	全国に誇れる画期的な方策を期待しております。四街道市民として協力していきます。
37	今後の公共施設のあり方を問うアンケートでしたら、実際に今後を担う世代の声をより重んじるべきではないでしょうか。
38	よく世間的にはスポーツ施設の充実を良い市政の例として挙げるが、それを利用できるのは一部の元気な市民のみ。それが公平と言えるか？
39	各公共施設へのアクセス向上の為に、もっとヨッピーを活用すべきだと思います。現行の経路を見ると、何故こんな場所を通るのかと首を傾げる様な事が多く、その所為か利用者も少ない様に見受けられます。
40	イベント活用やタレントなどを呼び、楽しめる事がもっとあると明るい生活ができると思います。
41	要は住民（市民）満足度向上（幸福度）に向けた行政の明確な哲学の問題と考える。

42	①費用対効果を十分に考慮され、四街道市民全員が可能な限り満足する設備に選択されたし。 ②設備は完成した後も利用率、サービスをフォロー確認され、死んだ設備にされないように注力されたし。
43	年から考えて長くは参加できないので若い人の考えを取り入れた方が良いのではないのでしょうか。
44	市民の要求が変わって来ている。変化に対応する必要がある。
45	1. 大日470ー～地先に貯水池がありますが、今だかつて多量の水が溜まった様子がありません。大きな屋根を設け太陽光発電を行い有効に利用すれば？（行政は1千万円の予算で約170軒に毎年太陽光発の補助をしているが）そうであれば空地に予算化し市民全体に何かの補助的考策をして市独自の策を練ってはいかが。 2. 市内各所の児童公園も古く現代に相応しID化を導入した、又管理し易い物にするのが良いのではないかと思う。 3. 各中学校区の一室に高齢者相談窓口を設け、担当者は市職員定年者を充てるのは如何。
46	千葉市になってほしい
47	市民の生活に重要な公共施設の将来的展望にとって素晴らしいアンケートです。四街道市発展のためご検討下さい。
48	○現状でも必要ないと感じている施設も今子育て中の方にとって必要かも。アンケート結果で判断してほしくないです。 ○高齢者の多い市になってきているからアンケート結果で偏らない様にして欲しいですね。
49	千葉市の色々な公共施設は千葉市民のみの利用が多いが四街道の公共施設は千葉市・佐倉市他近隣の住民の方々も利用されていますので、この点も良く考えてもらいたいと思います。（利用料を四街道市民と差をつけるとか）
50	アンケートに一応答えましたが、存在すら知らない施設、利用していないものに対して答えるのは難しく、果たしてこのアンケートを受けて良かったものかと不安に思いました
51	アンケート等によって市民の声を聞くことは良いことだと思います。しかし、このアンケートの前提条件が諸施設の統廃合に向けての内容であるとみえて、設問と解答例がその方向に向けてのものとなっていて、統廃合の免罪符になりかねない懸念を感じます。誘導尋問のような気配さえ感じます。
52	財政的問題があるにせよ、元々四街道市の市民向け施設があまり十分とは言えないと思える現状の中にあって、これ以上統廃合が進んでは、市民の利用できる施設がますます遠のいてしまいます。公共施設は広くあまねく平等にいつでも誰もが利用できるものでなければならないと思います。やたらと料金を上げたり有料化したり、利用方法を制限したり、季節のグループや特権の利用を優先させたりするのは避けなければなりません。
53	管理、運営に関しては民営化するなどは避け、市が責任を持って運営すべきであると思います。民営化は利害が平等安心の利用を超越してしまうことがしばしばおこります。

35	<p>四街道市には財源となる企業や観光地がなく、現在、東京のベッドタウンとして人口の増加を図ってきたが、これもそろそろ限界にきていると推測されます。また、少子高齢化の進展も避けられないと考えられるので市の施策を実施するうえで改革していくことが賢明であると考えられます。また、公共事業の大規模な改修や建替えの時期にきていて、維持管理に伴う財源の厳しさが予想されるとのことである。このように至った原因は、施設を設置する時点で長期的な視野に基づいて施設等の建設をしなかったことが、現時点で大きな問題となっていると思われます。この度、公共施設等の利用状況を把握するための調査であります。施設の維持管理には市の財源が必要です。施設等を建設したとき長期的な視野で施設の維持に将来どれくらいの財源が必要になるかということをお考えしておかなければならない。そうしないと財源が不足し維持不能となってしまうのが当然である。財源がない場合は、施設等の見直し、縮小、廃止、民間委託により経費の節減に努めることである。公共事業において、あまり必要性がないもの、当初に計画してあった事業でも、その時代により不必要になった計画は徹底して変更または廃上をすることが重要である。しかし、相変わらず改善されていないように見受けられる。将来には市の合併、道州制の導入等自治組織の改革も考えられうるので、それらのことも念頭において行政計画をするようにする。財政について、国策で経済の動向が左右されることがある財政問題、当市は市民税、固定資産税が主な財源となつていると思うので、税収を増やすには、企業の有無により市内住民の就職に左右されるので、これらのことが市民税増収に影響するものと考えられる。それには、四街道市が他市にない魅力ある街にすることが肝要である。現状では若年者が市外に流出してしまい、老年層が増加している傾向にあるようであるのではないかと想像する。それには企業の誘致を図り市民の就業を推進して行くことが大切である。それと、少子高齢化が進展すると、税収の伸びが見込まれず市の発展に影響してくる。特に企業が少ない当市においては、市民税による財源に依存されるので、若年者が多く市内に居住してもらうような環境整備が求められるので、四街道市に居住して良かったというような方策を市が立案しなければならない。現在、当市ではサラリーマン世帯が多数であり、特に若年者は職を求めて東京方面に通勤する人の増加傾向にあり、また市外への移転者が多くなっているようである。それには交通の利便性が課題となる。これは市の立地条件が大きく影響しているので変えることは困難であるが、それには、駅までの交通の利便性を良くすることが大切であるが、駅に行く直行するような道路が少ないうえ高低差が多い道路で不便を感じる。それ故、交通網の整備においては、バランスのとれた施策が必要であるので、それらのことを考慮して計画する必要がある。特に駅周辺の道路を利用しやすいものとする。</p>
36	<p>一応アンケートには誠実にお答えした心算ですが、地域施設の存続判断に活用しないで下さい。各地域の住民数・設置環境・交通・利用率等が判らない小生にアンケートを求める事が無駄と失礼で、不適切と思えるからです。市(職員)は知恵を絞り、市政の変化に対応する恒久的なスケール(判断基準)をおつくり下さい。お願いします。当アンケートの目的を深読み過ぎると市(職員)の自己弁護向けデータの収集と取られますのでご注意ください。追記・失礼先は地域施設を利用されている方に対してです。</p>
37	<p>公共施設の統廃合や利用率、維持管理については、理想論が語られることが多い気がする。そのためか実際に施設の改修などが行なわれた後の評価がいまいちだと感じることもある。このようなアンケート結果などから、どのくらい読み取れるかわからないが、市民の声が大いに反映されることを望む。</p>

38	<p>花好きな人は全国に多い。四街道の自然豊かな里山を生かした花の見所があったら近隣の人々もやって来るし、自分としても嬉しく多に活用する。千葉市や佐倉市の施設を参考に花の名所が作られたらいい。</p>
39	<p>財源が減るのであれば、施設は減らさざるを得ないということです。少ない財源で少しでも多くの方が、より永く、かつ公平に恩恵に預かるためには、既存施設は財源見合いで、優先順位を付けて整理統合集約化せざるを得ません。既存施設はメンテナンス費用を掛けて建物寿命を延命化して使用する。建替えた方が効率の良い施設の場合でも、建設・管理・運営を民間事業者の導入を検討する。一定の受益者負担を検討する。その前に重要なことは、四街道市政として公共施設整備を市の財源全体の中で何%支出すべきと考えているかということです。</p>
40	<p>「子育て日本一」の住み易い四街道市であるためには、公共施設の中でも利用する優先度の高い施設を絞り、充実を図るべきではないでしょうか。財政・維持困難・・・様々な問題があることが今回のアンケート資料からも明確ですがそれよりもまずは四街道市がどうしたいのか目的・ねらいをハッキリと持ち、中身を充実化させないと、何をするにしても市民は納得理解出来ないと思います。住みやすいまちであり続けるために、しっかり姿勢をみせて欲しいと思います。</p>

4. 調査結果のクロス集計による考察

4.1 施設別の利用状況、交通手段、優先度の特性

以下に、アンケート設問で用意した市民文化系施設-6 施設、社会教育系施設-1 施設、スポーツ系施設-8 施設、レクリエーション系施設-1 施設、保健福祉系施設-2 施設の計 18 施設別の利用特性と施設存続の優先度について整理しました。

また、意見の傾向について概観程度の範囲で考察を整理しました。

② 施設別、「利用状況」・「移動手段・所要時間」・「存続の優先度」の特性と考察を以下示します。

施設分類と施設	設問	利用状況		移動手段・所要時間		存続の優先度		考 察
		利用頻度	利用しない理由 (「利用する機会、必要性がない」以外の理由)	移動手段	所要時間 (ほとんどが30分圏内の施設)	優先度	優先度低い理由	
市民文化系施設	1 文化センター	市民文化系で利用者が最も多い。(37%が1年以内に使用)	「利用できる時間が合わない」との理由が多い。	徒歩、自転車の利用が多くみられ、比較的にアクセスしやすい施設である事がわかる。	6割強が15分未満	8割弱が「優先度が高い」、1割強が「優先度が低い」と回答。	「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化系施設で1番利用者が多いが「利用できる時間が合わない」との意見があるので、改善策を検討する。 移動手段には、徒歩、自転車が比較的多く、所要時間も少ないことから立地条件がよいと思われる。 施設の優先度が高いため、市民にとって必要性の高い施設と思われる。
	2 四街道公民館	市民文化系で2番目に利用者が多い。(12%が1年以内に使用)	「サービス内容を知らない」との理由が多い。	徒歩、自転車の利用が自家用利用より多くみられ、比較的にアクセスしやすい施設である事がわかる。	5割強が15分未満	3割弱が「優先度が高い」、3割強が「優先度が低い」と回答。	「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化系施設では比較的用户者が多いが、サービス内容を知らない方も多いため、施設周知を図る必要がある。 移動手段には、徒歩、自転車が比較的多く、所要時間も少ないことから立地条件がよいと思われる。 優先度については、高低が半々であり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。
	3 千代田公民館	市民文化系で2番目に利用者が多い。(11%が1年以内に使用)	「場所が不便で行きにくい。」との理由が多い。	自家用車での利用が多い。	5割強が15分未満	3割弱が「優先度が高い」、3割強が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化系では比較的用户者が多いが、場所が不便で行きにくい方も多いため、交通アクセスの案内の周知等改善を図る必要がある。 移動手段には、自家用車が多いが、所用時間は少ないことから交通アクセスは比較的良好と思われる。 優先度については、高低が半々であり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。
	4 旭公民館	市民文化系で3番目に利用者が多い。(11%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	自家用車での利用が多い。	5割弱が15分未満	3割弱が「優先度が高い」、3割強が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化系では比較的用户者が多いが、施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 移動手段には、自家用車が多いが、所用時間は少ないことから交通アクセスは比較的良好と思われる。 優先度については、高低が半々であり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。
	5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター	市民文化系で比較的用户者が少ない。(7%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	自家用車での利用が多い。	4割が15分未満	1割強が「優先度が高い」、4割が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化系では比較的用户者が少ない。施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 移動手段には、自家用車が多いが、所用時間は少ないことから交通アクセスは比較的良好と思われる。 施設の優先度が低い意見が多く、利用者も少ないため、市民にとって必要性の低い施設と思われる。
	6 大熊記念コミュニティセンター	市民文化系で比較的用户者が少ない。(3%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車、徒歩・自転車と平均的である。	5割弱が15分未満	1割弱が「優先度が高い」、5割弱が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化系では比較的用户者が少ない。施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 移動手段には、自家用車、徒歩・自転車と多様だが、所用時間は少ないことから交通アクセスは比較的良好と思われる。 施設の優先度が低い意見が多く、利用者も少ないため、市民にとって必要性の低い施設と思われる。

施設分類と施設		設問		利用状況		移動手段・所要時間		存続の優先度		考 察
		利用頻度	利用しない理由 (「利用する機会、必要性がない」以外の理由)	移動手段	所要時間 (ほとんどが30分圏内の施設)	優先度	優先度低い理由			
社会教育系施設	7 図書館	施設分類に限らず、公共施設で1番利用者が多い。(40%が1年以内に使用)	「利用できる時間が合わない」との理由が多い。	移動手段は、自家用車、徒歩・自転車と平均的である。	6割強が15分未満	8割弱が「優先度が高い」、1割弱が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 相対的に利用者が多いが利用できる時間が合わない意見もあるので、改善策を検討する。 移動手段には、自家用車、徒歩、自転車と平均的で、所用時間も少ないことから立地条件がいいと思われる。 施設の優先度が高いため、市民にとって必要性の高い施設と思われる。 		
スポーツ系施設	8 中央公園武道館	スポーツ系では比較的用户が少ない。(3%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車、徒歩・自転車と平均的である。	6割弱が15分未満	3割弱が「優先度が高い」、3割強が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ系では比較的用户が少ない。施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 移動手段には、自家用車、徒歩、自転車と平均的で、所用時間も少ないことから立地条件がいいと思われる。 優先度については、高低が半々であり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。 		
	9 中央公園野球場	スポーツ系では比較的用户が少ない。(6%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車、徒歩・自転車と平均的である。	6割弱が15分未満	3割強が「優先度が高い」、3割弱が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ系では比較的用户が少ない。施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 移動手段には、自家用車、徒歩、自転車と平均的で、所用時間も少ないことから立地条件がいいと思われる。 優先度については、高低が半々であり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。 		
	10 中央公園プール	スポーツ系では比較的用户が少ない。(8%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」「民間の類似施設を利用するため」との理由が多い。	移動手段は、徒歩・自転車が自家用利用より多い。	6割が15分未満	4割弱が「優先度が高い」、2割弱が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ系では比較的用户が少ない。施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 移動手段には、自家用車、徒歩、自転車と平均的で、所用時間も少ないことから立地条件がいいと思われる。 優先度については、高いが多いが「どちらともいえない」が4割弱あり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。 		
	11 総合公園体育館	スポーツ系で利用者が最も多い。(18%が1年以内に使用)	「場所が不便で行きにくい。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多い。	5割弱が15分から30分未満	5割強が「優先度が高い」、2割弱が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ系では1番利用が多い。場所が不便で行きにくい方も多いため、交通アクセスの案内の周知等改善を図る必要がある。 移動手段には、自家用車が多い。所用時間は他施設よりも若干多いが立地条件はそれほど悪くないと思われる。 施設の優先度が高く、スポーツ系施設で最も利用者が多いため、市民にとって必要性の高い施設と思われる。 		
	12 総合公園野球場	スポーツ系では比較的用户が少ない。(4%が1年以内に使用)	「場所が不便で行きにくい。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多い。	4割強が15分から30分未満	4割強が「優先度が高い」、2割強が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ系では比較的用户が少ない。場所が不便で行きにくい方も多いため、交通アクセスの案内の周知等改善を図る必要がある。 移動手段には、自家用車が多い。所用時間は他施設よりも若干多いが立地条件はそれほど悪くないと思われる。 優先度については、高いが多いが「どちらともいえない」が4割弱あり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。 		

施設分類と施設		設問		利用状況		移動手段・所要時間		存続の優先度		考 察
		利用頻度	利用しない理由 (「利用する機会、必要性がない」以外の理由)	移動手段	所要時間 (ほとんどが30分圏内の施設)	優先度	優先度低い理由			
スポーツ施設	13 総合公園多目的運動場	スポーツ系では3番目に利用者が多い。(12%が1年以内に使用)	「場所が不便で行きにくい。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多い。	5割弱が15分から30分未満	5割強が「優先度が高い」、2割弱が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ系では3番目に利用が多いが場所が不便で行きにくい方も多いため、交通アクセスの案内の周知等改善を図る必要がある。 ・移動手段には、自家用車が多い。所用時間は他施設よりも若干多いが立地条件はそれほど悪くないと思われる。 ・施設の優先度が高く、利用者も多いため、市民にとって必要性の高い施設と思われる。 		
	14 温水プール	スポーツ系では4番目に利用者が多い。(10%が1年以内に使用)	「場所が不便で行きにくい。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多い。	5割弱が15分から30分未満	4割強が「優先度が高い」、2割強が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ系では4番目に利用が多いが場所が不便で行きにくい方も多いため、交通アクセスの案内の周知等改善を図る必要がある。 ・移動手段には、自家用車が多い。所用時間は他施設よりも若干多いが立地条件はそれほど悪くないと思われる。 ・優先度については、高いが多いが「どちらともいえない」が4割弱あり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。 		
	18 各公園テニスコート	スポーツ系では2番目に利用者が多い。(13%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多い。	6割が15分未満	2割強が「優先度が高い」、3割強が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ系では2番目に利用が多いが施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 ・移動手段には、自家用車、徒歩、自転車とほぼ平均的で、所用時間も少ないことから立地条件がいいと思われる。 ・優先度については、高いが多いが「どちらともいえない」が5割弱あり、当アンケートの結果では施設の必要性の判断が明確にできない。 		
レクリエーション施設	15 国民保養センター鹿島荘	施設分類に限らず、公共施設で比較的用户数が少ない。(5%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多い。	4割強が15分から30分未満	1割強が「優先度が高い」、4割強が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の公共施設の中でも利用が少ない。また、施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 ・移動手段には、自家用車が多い。所用時間は他施設よりも若干多いが立地条件はそれほど悪くないと思われる。 ・施設の優先度が低い意見が多く、利用者も少ないため、市民にとって必要性の低い施設と思われる。 		
保健・福祉施設	16 総合福祉センター	公共施設の中では比較的用户数が多い。(18%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多く、徒歩・自転車が次いで多い。	6割弱が15分未満	4割強が「優先度が高い」、2割弱が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の公共施設の中でも比較的用户数が多い。しかし、施設の存在自体知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 ・移動手段には、自家用車、徒歩、自転車とほぼ平均的で、所用時間も少ないことから立地条件がいいと思われる。 ・施設の優先度が高く、利用者も多いため、市民にとって必要性の高い施設と思われる。 		
	17 南部総合福祉センターわろうべの里	公共施設の中では比較的用户数が多い。(23%が1年以内に使用)	「施設の存在自体を知らない。」「サービスの内容を知らない」との理由が多い。	移動手段は、自家用車が多く、徒歩・自転車が次いで多い。	5割強が15分未満	4割強が「優先度が高い」、2割が「優先度が低い」と回答。	優先度が低い理由は、「一部の人にしか使われてなさそうだから」の回答が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の公共施設の中でも比較的用户数が多い。しかし、施設の存在自体やサービス内容を知らない方も多いため、施設の周知を図る必要がある。 ・移動手段には、自家用車、徒歩、自転車とほぼ平均的で、所用時間も少ないことから立地条件がいいと思われる。 ・施設の優先度が高く、利用者も多いため、市民にとって必要性の高い施設と思われる。 		

4.2 施設別の「今後の維持管理・運営状況に対する認識」「総合的、長期的な保全・活用方策の考え方」統廃合によるアクセスサービスの低下の特性と考察

アンケート設問で用意した市民文化系施設-6 施設、社会教育系施設-1 施設、スポーツ系施設-8 施設、レクリエーション系施設-1 施設、保健福祉系施設-2 施設の計 18 施設別の「問 4. 今後の維持管理・運営状況に対する認識」、「問 5. 今後の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方」、「問 6. 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下」の回答傾向について整理し、また、意見の傾向について概観程度の範囲で考察を整理しました。

※参考にしたクロス集計結果のグラフは別冊のアンケート調査結果（資料）をご参照ください。

施設別の「今後の維持管理・運営状況に対する認識」・「総合的、長期的な保全・活用方策の考え方」・「統廃合によるアクセスサービスの低下」の特性と考察を以下に示します。

施設分類	市民文化系施設	施設名称	1 文化センター
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。</u>この傾向は非利用者も同様である。 (よく知っている24%、なんとなく知っている62%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向 <ul style="list-style-type: none"> 利用者37%、非利用者63% 約6割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「サービス内容知らない」「利用したいと思わない」の理由が多い。 	
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施33%、どちらかというと積極的に実施49%) 		⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施19%、どちらかというと積極的に実施47%)
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施26%、どちらかというと積極的に実施41%) 		⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。 (積極的に実施19%、どちらかというと積極的に実施32%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。 (積極的に実施39%、どちらかというと積極的に実施48%) 		⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施22%、どちらかというと積極的に実施34%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施26%、どちらかというと積極的に実施44%) 		⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。 (積極的に実施11%、どちらかというと積極的に実施23%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施46%) 		
		<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 有料施設の引き上げ、無料部分は有料にすること、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や近隣市との共同利用、民間施設利用や民間運営を望む意見が多い。 	
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる40%、ある程度までなら許容できる22%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる8%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約6割で自転車、徒歩については約3割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	市民文化系施設	施設名称	2 四街道公民館
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、利用者の約9割に理解されている。この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている24%、なんとなく知っている63%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者12%、非利用者88% 約9割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」「サービス内容を知らない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施47%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施24%、どちらかというと積極的に実施38%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施14%、どちらかというと積極的に実施41%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。(積極的に実施41%、どちらかというと積極的に実施45%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施21%、どちらかというと積極的に実施36%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施38%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施35%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施46%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。(積極的に実施10%、どちらかというと積極的に実施23%)
			問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含)(許容できる33%、ある程度までなら許容できる23%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる10%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約4割で、自転車、徒歩についても約4割である。 		
<考察> (問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。 (問5) 建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト削減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。 ・(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多いが、アクセス方法については、自家用車と自転車、徒歩がほぼ半々であるためアクセス距離の悪化に関しては代替手段等の検討が必要になると考えられる。			

施設分類	市民文化系施設	施設名称	3 千代田公民館
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている</u>。この傾向は非利用者も同様である。 (よく知っている29%、なんとなく知っている60%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者12%、非利用者88% 約9割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「施設の存在自体を知らない」「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	<p>①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (利用者が積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施47%すべき施設) 		
	<p>②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施27%、どちらかというと積極的に実施42%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施17%、どちらかというと積極的に実施42%)
	<p>③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施41%、どちらかというと積極的に実施41%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施27%、どちらかというと積極的に実施29%)
	<p>④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施34%、どちらかというと積極的に実施33%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施32%)
	<p>⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施32%、どちらかというと積極的に実施44%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している (積極的に実施14%、どちらかというと積極的に実施21%)
			<p>問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化</p>
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる36%、ある程度までなら許容できる22%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる10%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約7割で、自転車、徒歩については約3割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 施設の統廃合、民間活用、延命化の意見が多く、今後の公共施設の管理等について多種多様な方策の検討が必要であると考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	市民文化系施設	施設名称	4 旭公民館
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。</u>この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている32%、なんとなく知っている56%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者12%、非利用者88% 約9割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「施設の存在自体を知らない」「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施28%、どちらかというと積極的に実施50%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施22%、どちらかというと積極的に実施40%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施12%、どちらかというと積極的に実施45%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施39%、どちらかというと積極的に実施45%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。(積極的に実施18%、どちらかというと積極的に実施35%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施27%、どちらかというと積極的に実施41%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施27%、どちらかというと積極的に実施38%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割強が実施に賛同している。(積極的に実施27%、どちらかというと積極的に実施49%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。(積極的に実施12%、どちらかというと積極的に実施24%)
			<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 有料施設の引き上げ、無料部分は有料にすること、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や民間施設利用や民間運営、利用者による自主運営、建替えせずに補修による長寿命化を望む意見が多い。
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる33%、ある程度までなら許容できる24%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる10%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約7割で、自転車、徒歩については約3割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	市民文化系施設	施設名称	5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。</u>この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている29%、なんとなく知っている59%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者6%、非利用者94% 約9割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「施設の存在自体を知らない」「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施32%、どちらかというと積極的に実施48%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施21%、どちらかというと積極的に実施46%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施13%、どちらかというと積極的に実施47%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施33%、どちらかというと積極的に実施45%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施42%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施31%、どちらかというと積極的に実施36%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施42%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施32%、どちらかというと積極的に実施45%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している(積極的に実施10%、どちらかというと積極的に実施29%)
			<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 有料施設の引き上げや無料部分は有料にすること、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や民間施設利用や民間運営、建替えせずに補修による長寿命化を望む意見が多い。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化</p>
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含)(許容できる38%、ある程度までなら許容できる24%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる7%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約8割で、自転車、徒歩については約1割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 施設の統廃合、民間活用、延命化の意見が多く、今後の公共施設の管理等について多種多様な方策の検討が必要であると考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	市民文化系施設	施設名称	6 大熊記念コミュニティセンター
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。この傾向は非利用者も同様である。</u> (よく知っている23%、なんとなく知っている68%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者3%、非利用者97% 約9割強の非利用者は「施設の存在自体を知らない」が最も多く、次いで「利用する機会や必要性がない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。 (積極的に実施52%、どちらかというと積極的に実施35%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施27%、どちらかというと積極的に実施36%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施13%、どちらかというと積極的に実施42%) 	
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施52%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。 (積極的に実施21%、どちらかというと積極的に実施33%) 	
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施42%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施17%、どちらかというと積極的に実施38%) 	
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施40%、どちらかというと積極的に実施40%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。 (積極的に実施14%、どちらかというと積極的に実施23%) 	
		<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 利用料金の変更、無料を有料にする事、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や民間運営、建替えせずに補修による長寿命化を望む意見が多い。 	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化 </div>			
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる22%、ある程度までなら許容できる28%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる11%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約5割で、自転車、徒歩については約4割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 施設及び統廃合、民間活用、延命化の意見が多く、今後の公共施設の管理等について多種多様な方策の検討が必要であると考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方がやや多いが、アクセス方法については、自家用車と自転車、徒歩がほぼ半々であるためアクセス距離の悪化に関しては代替手段等の検討が必要になると考えられる。</p>			

施設分類	社会教育系施設	施設名称	7 図書館
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約8割に理解されている</u>。この傾向は非利用者も同様である。 (よく知っている24%、なんとなく知っている61%) 	参考:「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者40%、非利用者60% 6割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「サービス内容を知らない」「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施39%、どちらかというとな積極的に実施45%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施28%、どちらかというとな積極的に実施44%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施18%、どちらかというとな積極的に実施47%) 	
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。 (積極的に実施42%、どちらかというとな積極的に実施43%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。 (積極的に実施19%、どちらかというとな積極的に実施33%) 	
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施26%、どちらかというとな積極的に実施42%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施20%、どちらかというとな積極的に実施36%) 	
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施27%、どちらかというとな積極的に実施41%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。 (利用者が積極的に実施9%、どちらかというとな積極的に実施23%すべき施設) 	
		<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 有料施設の引き上げ、無料部分は有料にすること、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や民間運営を望む意見が多い。 	
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる42%、ある程度までなら許容できる21%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる8%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約5割で、自転車、徒歩については約4割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト削減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多いが、アクセス方法については、自家用車と自転車、徒歩がほぼ半々であるためアクセス距離の悪化に関しては代替手段等の検討が必要になると考えられる。</p>			

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	8 中央公園武道館	
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。この傾向は非利用者も同様である。</u>（よく知っている23%、なんとなく知っている65%） 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者3%、非利用者97% 約9割強の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。 	
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。（積極的に実施39%、どちらかというと積極的に実施42%） 	⑥施設を減らす代わりに民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。（積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施41%）
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。（積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施35%） 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。（積極的に実施21%、どちらかというと積極的に実施24%）
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。（積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施57%） 	⑧現在無料の施設も、可能な限り（法令等に反しない範囲）有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。（積極的に実施21%、どちらかというと積極的に実施27%）
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。（積極的に実施24%、どちらかというと積極的に実施45%） 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。（積極的に実施13%、どちらかというと積極的に実施17%）
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。（積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施35%） 		
				<ul style="list-style-type: none"> 「⑦財源を増やすため使用料金を引き上げる」「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の7項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 利用料金の変更に反対だが、現在の公共サービス機能を変更せず、複合化や民間運営、利用者による自主運営を望む意見が多い。
			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化</p> </div>	
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。（条件付含）（許容できる27%、ある程度までなら許容できる27%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる9%） 本施設へのアクセス方法は自家用車（送迎含）が全体の約5割で、自転車、徒歩については約4割である。 			
<p><考察></p> <p>（問4）公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>（問5）統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>（問6）アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多いが、アクセス方法については、自家用車と自転車、徒歩がほぼ半々であるためアクセス距離の悪化に関しては代替手段等の検討が必要になると考えられる。</p>				

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	9 中央公園野球場	
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。この傾向は非利用者も同様である。</u>（よく知っている25%、なんとなく知っている67%） 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者4%、非利用者96% 約9割強の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。 	
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。（積極的に実施34%、どちらかというと積極的に実施46%） 	⑥施設を減らす代わりに民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。（積極的に実施18%、どちらかというと積極的に実施43%）
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。（積極的に実施31%、どちらかというと積極的に実施33%） 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。（積極的に実施22%、どちらかというと積極的に実施37%）
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。（積極的に実施42%、どちらかというと積極的に実施40%） 	⑧現在無料の施設も、可能な限り（法令等に反しない範囲）有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。（積極的に実施18%、どちらかというと積極的に実施45%）
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。（積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施38%） 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。（積極的に実施9%、どちらかというと積極的に実施32%）
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。（積極的に実施31%、どちらかというと積極的に実施33%） 		
		<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 利用料金の変更と共に、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や民間運営、利用者による自主運営を望む意見が多い。 	問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化	
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。（条件付含）（許容できる32%、ある程度までなら許容できる25%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる9%） 本施設へのアクセス方法は自家用車（送迎含）が全体の約6割で、自転車、徒歩については約4割である。 			
<p><考察></p> <p>（問4）公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>（問5）統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>（問6）アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多いが、アクセス方法については、自家用車と自転車、徒歩がほぼ半々であるためアクセス距離の悪化に関しては代替手段等の検討が必要になると考えられる。</p>				

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	10 中央公園プール	
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約7割に理解されている</u>。この傾向は非利用者も同様である。 (よく知っている15%、なんとなく知っている58%) 	参考:「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者8%、非利用者92% 約9割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。 	
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施44%、どちらかというと積極的に実施35%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施13%、どちらかというと積極的に実施43%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施39%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。 (積極的に実施10%、どちらかというと積極的に実施28%) 		
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。 (積極的に実施33%、どちらかというと積極的に実施52%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。 (積極的に実施13%、どちらかというと積極的に実施27%) 		
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施26%、どちらかというと積極的に実施44%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。 (積極的に実施10%、どちらかというと積極的に実施26%) 		
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施37%) 			
		<ul style="list-style-type: none"> 「⑦財源を増やすため使用料金を引き上げる」「⑧無料施設も有料化する」「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の6項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 利用料金の変更、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や民間運営、近隣市との共同利用、建替え <p>問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化</p>		
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる26%、ある程度までなら許容できる28%、遠くでも交通アクセスが良ければ許容できる9%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約4割で、自転車、徒歩については約5割である。 			
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多いが、アクセス方法については、自家用車と自転車、徒歩がほぼ半々であるためアクセス距離の悪化に関しては代替手段等の検討が必要になると考えられる。</p>				

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	1 1 総合公園体育館
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている</u>。この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている28%、なんとなく知っている58%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者18%、非利用者82% 約8割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施39%、どちらかというと積極的に実施41%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施28%、どちらかというと積極的に実施40%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施19%、どちらかというと積極的に実施47%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。(積極的に実施39%、どちらかというと積極的に実施47%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。(積極的に実施12%、どちらかというと積極的に実施31%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施22%、どちらかというと積極的に実施44%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。(積極的に実施18%、どちらかというと積極的に実施36%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施26%、どちらかというと積極的に実施40%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。(積極的に実施10%、どちらかというと積極的に実施23%)
			<ul style="list-style-type: none"> 「⑦財源を増やすため使用料金を引き上げる」「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の7項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 有料施設の引き上げに反対だが、無料部分を有料にすること、現在の公共サービス機能を変更せずに、複合化や近隣市との共同利用、民間運営を望む意見が多い。
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる42%、ある程度までなら許容できる22%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる7%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約9割で、自転車、徒歩については約1割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト削減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	1 2 総合公園野球場
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている</u>。この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている24%、なんとなく知っている62%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者4%、非利用者96% 約9割強の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。(積極的に実施40%、どちらかというと積極的に実施46%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施32%、どちらかというと積極的に実施35%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施17%、どちらかというと積極的に実施47%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。(積極的に実施34%、どちらかというと積極的に実施51%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施22%、どちらかというと積極的に実施33%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施28%、どちらかというと積極的に実施39%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施22%、どちらかというと積極的に実施33%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施34%、どちらかというと積極的に実施37%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。(積極的に実施17%、どちらかというと積極的に実施20%)
			<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 利用料金の変更、現在の公共サービス機能を変更せずに複合化や民間運営、近隣市との共同利用、建替えせずに補修による長寿命化を望む意見が多い。
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる25%、ある程度までなら許容できる31%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる6%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約8割、自転車、徒歩については約1割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト削減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	13 総合公園多目的運動場
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約8割に理解されている</u>。この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている25%、なんとなく知っている57%) 	参考:「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者12%、非利用者88% 約9割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施43%、どちらかというと積極的に実施41%) 		⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施16%、どちらかというと積極的に実施52%)
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施39%) 		⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。(積極的に実施19%、どちらかというと積極的に実施23%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施40%、どちらかというと積極的に実施42%) 		⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施24%、どちらかというと積極的に実施31%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施28%、どちらかというと積極的に実施37%) 		⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。(積極的に実施12%、どちらかというと積極的に実施27%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施38%) 		
	<p>—利用者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「⑦財源を増やすため使用料金を引き上げる」「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の7項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 利用料金の変更、現在の公共サービス機能を変更せずに複合化や民間運営、近隣市との共同利用を望む意見が多い。 	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化 </div>		
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる28%、ある程度までなら許容できる27%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる10%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約8割、自転車、徒歩については約1割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	14 温水プール
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約8割に理解されている。</u>この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている29%、なんとなく知っている53%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者10%、非利用者90% 約9割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施42%、どちらかというと積極的に実施34%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施34%、どちらかというと積極的に実施39%設) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施21%、どちらかというと積極的に実施38%)
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施42%、どちらかというと積極的に実施39%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。(積極的に実施16%、どちらかというと積極的に実施30%)
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施26%、どちらかというと積極的に実施37%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。(積極的に実施22%、どちらかというと積極的に実施23%)
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施38%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。(積極的に実施12%、どちらかというと積極的に実施21%)
			問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含)(許容できる35%、ある程度までなら許容できる26%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる7%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約8割、自転車、徒歩については約1割である。 		
<考察> (問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。 (問5) 統廃合及び建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。 (問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。			

施設分類	スポーツ系施設	施設名称	18 各公園テニスコート	
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、利用者の約9割に理解されている。この傾向は非利用者も同様である。 (よく知っている26%、なんとなく知っている59%)	参考:「問1-②利用しない理由」の傾向 ・利用者5%、非利用者95% 約9割強の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「利用したいと思わない」の理由が多い。		
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす ・利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施41%、どちらかというと積極的に実施37%)		⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う ・利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施17%、どちらかというと積極的に実施40%)	
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する ・利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施36%)		⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる ・利用者の約5割が実施に賛同している。 (積極的に実施14%、どちらかというと積極的に実施34%)	
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する ・利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施33%、どちらかというと積極的に実施50%)		⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する ・利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施16%、どちらかというと積極的に実施42%)	
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する ・利用者の約5割が実施に賛同している。 (積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施25%)		⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する ・利用者の約4割が実施に賛同している。 (積極的に実施15%、どちらかというと積極的に実施21%)	
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす ・利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施29%、どちらかというと積極的に実施37%)			
			<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 利用料金の変更、現在の公共サービス機能を変更せずに複合化や民間運営を望む意見が多い。 	
			問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化	
	問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる27%、ある程度までなら許容できる27%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる9%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約7割、自転車、徒歩については約3割である。 		
	<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	レクリエーション系施設	施設名称	15 国民保養センター鹿島荘
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。</u>この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている27%、なんとなく知っている67%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向	<ul style="list-style-type: none"> 利用者5%、非利用者95% 約9割強の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「施設の存在自体を知らない」「利用したいと思わない」の理由が多い。
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	<p>①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している(積極的に実施35%、どちらかというと積極的に実施48%) 		
	<p>②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施49%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。(積極的に実施11%、どちらかというと積極的に実施38%)
	<p>③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。(積極的に実施39%、どちらかというと積極的に実施52%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施20%、どちらかというと積極的に実施39%)
	<p>④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施23%、どちらかというと積極的に実施49%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施46%)
	<p>⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施33%、どちらかというと積極的に実施48%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約4割が実施に賛同している。(積極的に実施7%、どちらかというと積極的に実施34%)
		<ul style="list-style-type: none"> 「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の8項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 現在の公共サービス機能を変更せずに複合化や民間運営を望む意見、さらに近隣市との共同利用、建て替えせずに補修による延命化、利用料金の変更を望む意見が多い。 	
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含)(許容できる44%、ある程度までなら許容できる21%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる8%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約8割、自転車、徒歩については約1割である。 		
<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 施設の統廃合、近隣市共同運営、民間活用、延命化の意見が多く、今後の公共施設の管理等について多種多様な方策の検討が必要であると考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

施設分類	保健・福祉施設	施設名称	16 総合福祉センター
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている。</u>この傾向は非利用者も同様である。(よく知っている28%、なんとなく知っている58%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向 <ul style="list-style-type: none"> 利用者18%、非利用者82% 約8割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「施設の存在自体を知らない」「サービス内容を知らない」の理由が多い。 	
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。(積極的に実施36%、どちらかというと積極的に実施48%) 		
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施28%、どちらかというと積極的に実施42%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施20%、どちらかというと積極的に実施41%) 	
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約9割が実施に賛同している。(積極的に実施42%、どちらかというと積極的に実施47%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施30%) 	
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施30%、どちらかというと積極的に実施40%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。(積極的に実施28%、どちらかというと積極的に実施34%) 	
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。(積極的に実施26%、どちらかというと積極的に実施46%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。(積極的に実施8%、どちらかというと積極的に実施21%) 	
		<ul style="list-style-type: none"> 「⑦財源を増やすため使用料金を引き上げる」「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の7項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 有料施設の引き上げなど、利用料金の変更に反対だが、現在の公共サービス機能を変更せず、複合化や民間運営、さらに近隣市との共同利用、利用者による自主運営、建て替えせず補修による延命化を望む意見が多い。 	
問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる37%、ある程度までなら許容できる23%、遠くでも交通アクセスが良ければ許容できる8%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約5割、自転車、徒歩については約3割、バス1割である。 		
<考察> (問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。 (問5) 統廃合及び改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。 (問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多いが、主だったアクセス方法については、自家用車と自転車、徒歩及びバスと多岐にわたるためアクセス距離の悪化に関しては代替手段等の検討が必要になると考えられる。			

施設分類	保健・福祉施設	施設名称	17 南部総合福祉センター わろうべの里	
問4 公共施設における、今後の維持管理・運営状況に対する認識	<ul style="list-style-type: none"> 「よく知っている」「なんとなく知っている」合わせ、<u>利用者の約9割に理解されている</u>。この傾向は非利用者も同様である。 (よく知っている29%、なんとなく知っている59%) 	参考：「問1-②利用しない理由」の傾向 <ul style="list-style-type: none"> 利用者23%、非利用者77% 約8割の非利用者は「利用する機会や必要性がない」が最も多く、次いで「施設の存在自体を知らない」「サービス内容を知らない」の理由が多い。 		
問5 公共施設の総合的、長期的な保全・活用方策の考え方	①施設を統廃合や機能集約することで、施設数を減らす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施36%、どちらかというと積極的に実施45%) 			
	②近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施25%、どちらかというと積極的に実施40%) 	⑥施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施19%、どちらかというと積極的に実施44%) 		
	③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約8割が実施に賛同している。 (積極的に実施39%、どちらかというと積極的に実施45%) 	⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。 (積極的に実施18%、どちらかというと積極的に実施29%) 		
	④地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約6割が実施に賛同している。 (積極的に実施24%、どちらかというと積極的に実施38%) 	⑧現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約5割が実施に賛同している。 (積極的に実施19%、どちらかというと積極的に実施33%) 		
	⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割が実施に賛同している。 (積極的に実施19%、どちらかというと積極的に実施47%) 	⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する <ul style="list-style-type: none"> 利用者の約3割が実施に賛同している。 (積極的に実施9%、どちらかというと積極的に実施22%) 		
	<div data-bbox="231 1153 662 1568"> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「⑦財源を増やすため使用料金を引き上げる」「⑧無料施設も有料化する」「⑨他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する」に対しては、やや「実施すべきではない」の意見がみられ、一方、他の6項目に対して、「実施すべき」の意見が多い。 有料施設の引き上げ、無料部分は有料にすることなど、利用料金の変更に反対だが、現在の公共サービス機能を変更せず、複合化や民間運営を望む意見が多い。 <div data-bbox="742 1489 1404 1568" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 問5の①～⑨の利用者の「積極的に実施すべき」「どちらかというと積極的に実施」の傾向をグラフ化 </div>			
	問6 公共施設の統廃合によるアクセスサービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の約7割がアクセス距離の悪化に対し許容できると回答している。(条件付含) (許容できる37%、ある程度までなら許容できる22%、遠くても交通アクセスが良ければ許容できる9%) 本施設へのアクセス方法は自家用車(送迎含)が全体の約7割、自転車、徒歩については約3割である。 		
	<p><考察></p> <p>(問4) 公共施設の維持管理問題に対する知識を有している方が非常に多く、施設の老朽化等に危機感を持っていることが考えられる。</p> <p>(問5) 統廃合及び改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用することを望んでいる方が多く、コスト縮減や民間のノウハウを活用した経営方式、サービス提供を望んでいることが考えられる。</p> <p>(問6) アクセス距離の悪化に対し許容できる方が多く、また、アクセス方法については、自家用車での利用が多いためアクセス距離の悪化に関しては問題ないと考えられる。</p>			

四街道市の公共施設に関する市民アンケートへのお願い
～ みなさんのご意見をお聞かせください ～

市民の皆様には、日頃から、本市行政に対しまして、深いご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、昭和40年代から50年代における急激な人口の増加や多様化するニーズに対応して建設された多くの公共施設が、今後、一斉に大規模改修や建替え等の更新時期を迎えます。

そうしたなか、少子高齢化の進展に伴い税収が伸び悩む一方、社会保障費などの支出が増加し、財政状況は厳しく、公共施設の更新等に要する費用が大きな負担となることが予想されます。

そのため、総合的、長期的な視点を持って、適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための方策を検討していくことにしています。

そこで、検討を進めるにあたっては、広く市民の皆様から参考意見をいただくことが大切であることから、「四街道市の公共施設に関する市民アンケート」を実施することといたしました。

お忙しいところお手数をおかけして誠に申し訳ありませんが、本アンケートにご協力をいただきますよう、お願いいたします。

平成27年8月 四街道市長 佐渡 斉

【 アンケートに関する問い合わせ先 】

四街道市 経営企画部 管財課 ファシリティマネジメント推進室 担当：山本、中村
電話：043(421)6210 / FAX：043(424)8920

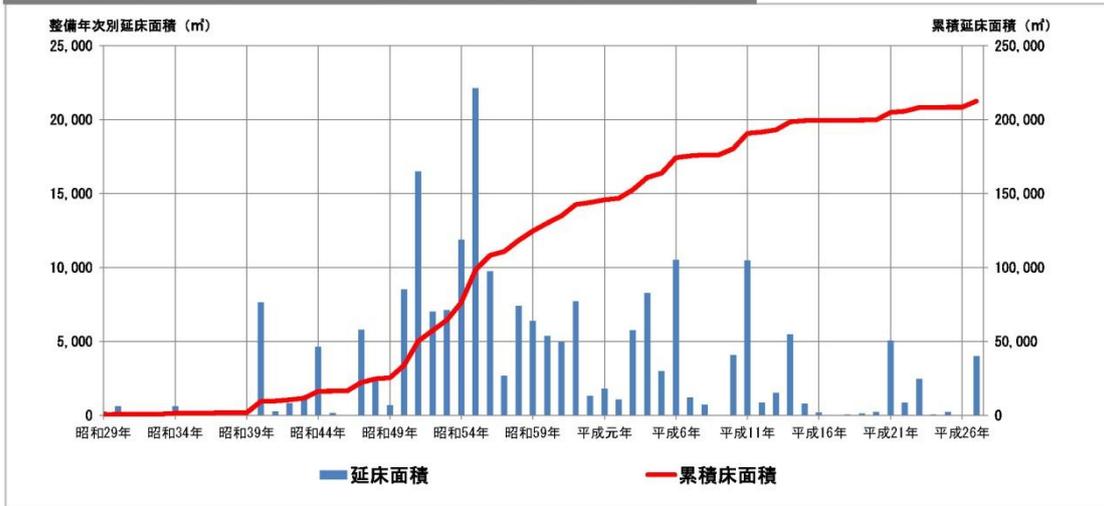
～この資料をご覧になってから、同封のアンケートにお答えください～

1. 公共施設の整備年次別延床面積・累積延床面積



四街道市が保有する公共施設の延床面積合計約21万㎡のうち、多くが昭和40年代及び50年代に整備されています。

四街道市が保有する公共施設の整備年次別延床面積・累積延床面積



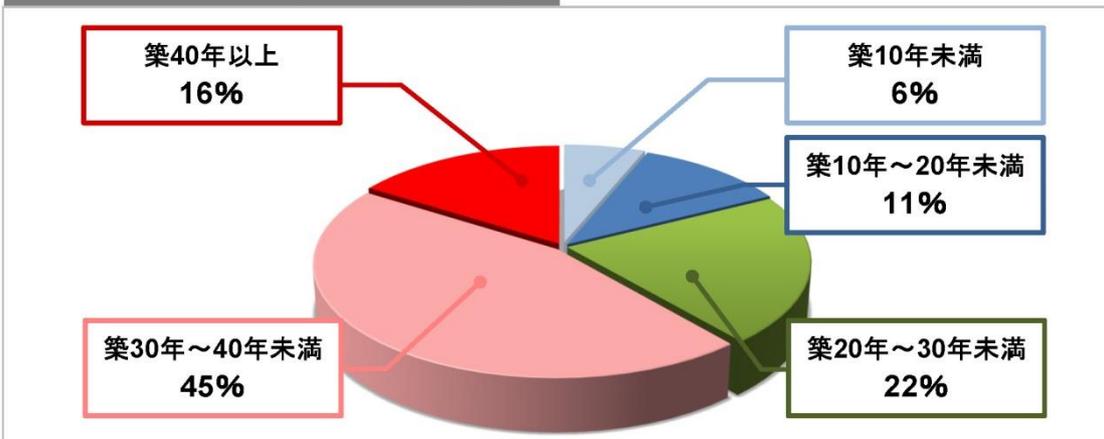
※平成27年7月時点のデータに基づいた数値です。

2. 公共施設の経過年数別延床面積



四街道市が保有する公共施設全体の約60%が建設からすでに30年以上経過しており、今後、大規模な改修や建替えが必要と考えられます。

四街道市が保有する公共施設の経過年数別延床面積



※平成27年7月時点のデータに基づいた数値です。

3. 公共施設の将来の更新費用（試算）



四街道市が保有する公共施設を将来にわたりこのまま維持・更新していかうとすると、今後50年間で必要となる費用は約**1,083億円**、1年あたりの平均で**21億7千万円**余りになると試算され（※注）、平成25年度までの過去5年間に要した**年間平均費用約9億3千万円**の約**2.3倍**となり、大きな財政負担となることが予測されます。

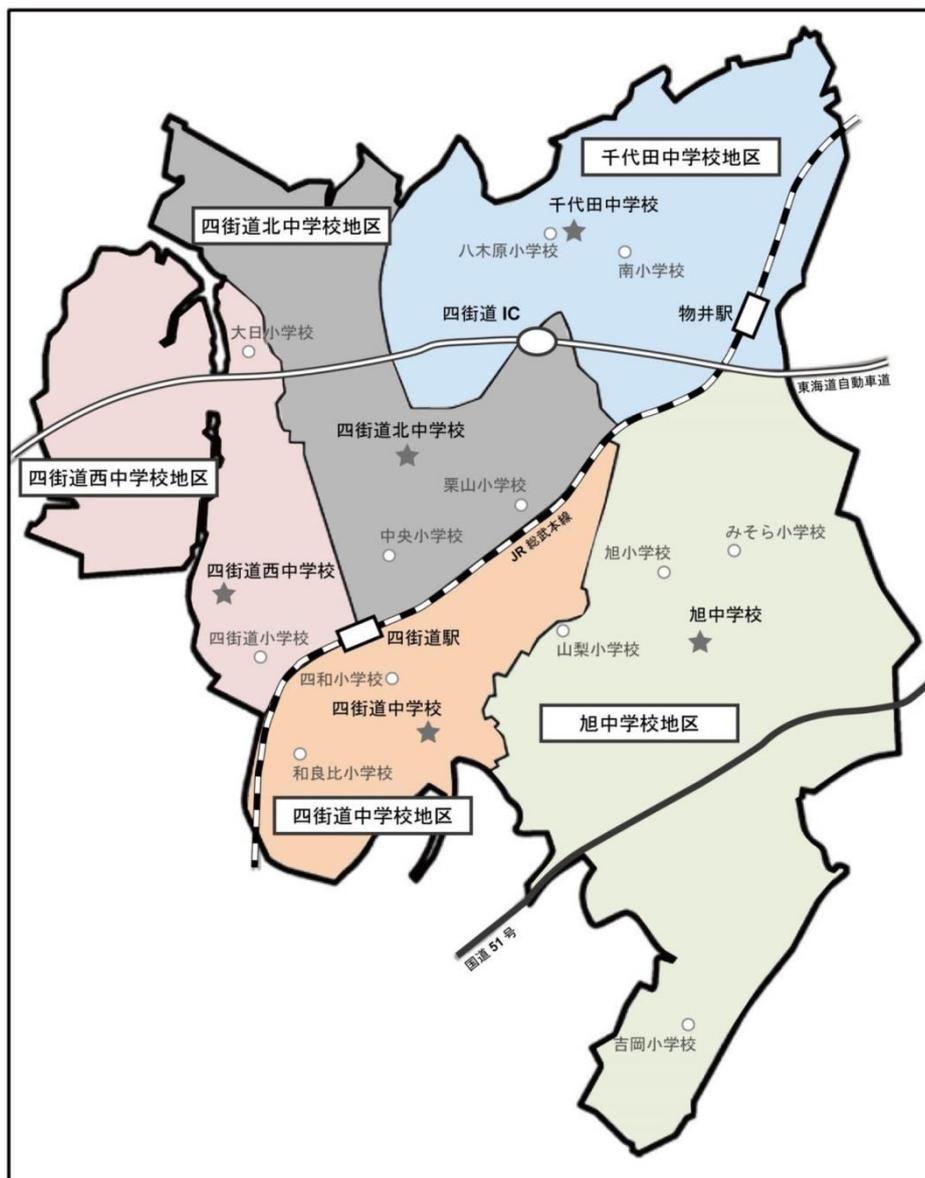
※注：維持・更新に必要な将来費用は、一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）が公開している「公共施設更新費用試算ソフト Ver. 2.10（総務省が公開している試算ソフトを改修したもの）」を使用して簡便に試算したもので、物価上昇率などは加味していない数値です。

4. 主な施設分類と対象施設

施設分類	施設数	施設例
1 市民文化系施設	8 施設	文化センター、公民館、その他集会場
2 社会教育系施設	2 施設	図書館、文化財整理室
3 スポーツ系施設	5 施設	中央公園武道館、四街道総合公園体育館・多目的運動場・野球場、温水プール
4 レクリエーション系施設	1 施設	国民保養センター鹿島荘
5 学校教育系施設	18 施設	小学校、中学校、給食調理場
6 子育て支援施設	15 施設	保育所、こどもルーム
7 保健・福祉施設	6 施設	保健センター、福祉センター、就労支援センターなど
8 行政系施設	31 施設	市役所庁舎、防災備蓄倉庫、消防署、消防団詰所など
9 公営住宅	7 施設	市営住宅
10 公園	9 施設	四街道中央公園管理棟、四街道総合公園管理棟、わらび近隣公園管理棟など
11 供給処理施設	1 施設	クリーンセンター
12 その他施設	8 施設	市営霊園、駅前公衆トイレ、自転車駐輪場など
13 上下水道施設	4 施設	市企業庁舎、浄水場
合計	115 施設	

5. 中学校地区 区域図

中学校地区名	通学区域
四街道中学校地区	四街道2丁目、鹿渡の一部、和良比、みのり町、美しが丘、めいわ
千代田中学校地区	亀崎、物井、長岡、栗山の一部、内黒田の一部、千代田、池花、もねの里
旭中学校地区	山梨、吉岡、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘、みそら、鷹の台
四街道西中学校地区	下志津新田、四街道、四街道1丁目、四街道3丁目、大日の一部、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘
四街道北中学校地区	栗山の一部、内黒田の一部、萱橋、大日の一部、鹿渡の一部、つくし座、さちが丘、中央



四街道市の公共施設に関する市民アンケート調査票

◆ 記入にあたってのお願い ◆

- ・ このアンケートは、あて名のご本人様がお答えください。
ご本人様の記入が難しい場合は、ご家族様や介助者様の代筆で回答をお願いします。
- ・ ボールペンか濃い鉛筆、サインペンなどではっきりと記入してください。
- ・ 回答は、該当する番号を○で囲んだり、具体的に記述するなど、設問ごとに異なります。指定された方法で記入してください。
- ・ 回答欄の「その他」を選んだ場合は、() 内に簡単にその内容を記入してください。
- ・ 封筒やアンケート用紙にお名前を記入する必要はありません。

◆ アンケートの回収について ◆

- ・ アンケート用紙に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、
9月8日(火)までに、切手を貼らずにポストに投かんしてください。

◆ 調査対象・目的 ◆

- ・ 調査は、平成27年5月1日現在の住民基本台帳より、無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に実施しています。
- ・ 調査はあくまでも今後の検討の基礎資料とすることを目的としていますので、無記名で行い、別の目的には使用いたしません。

【 アンケートに関する問い合わせ先 】

四街道市 経営企画部 管財課 ファシリティマネジメント推進室 担当：山本、中村
電話：043(421)6210 / FAX：043(424)8920

<公共施設の利用状況についておたずねします>

【問1】 あなたは、下表に示す公共施設をどのくらい利用していますか。対象施設ごとに「①利用頻度」から一つ選び、番号に○をつけてください。

また、①利用頻度で「過去に利用したことがある」又は「利用したことがない」を選択した場合は、②利用しない理由よりその理由を選んで、番号に○をつけてください。（複数可）

対象施設	①利用頻度 (○は一つ)					②利用しない理由 (○はいくつでも)								
	よく利用している(週一回以上)	たまに利用している(月数回程度)	ごくたまに利用している(年数回)	過去に利用したことがある↓この場合は②へ	利用したことがない↓この場合は②へ	場所が不便で行きにくい	利用できる時間が合わない	設備に不満がある	他市の類似施設を利用するため	民間の類似施設を利用するため	利用する機会や必要性がない	サービスの内容を知らない	利用したいと思わない	施設存在自体を知らない
(記入例) ○○○○○	→ 1	2	3	4	⑤	①	2	3	④	5	6	7	8	9
1 文化センター	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 四街道公民館	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3 千代田公民館	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4 旭公民館	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6 大熊記念コミュニティセンター	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7 図書館	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8 中央公園武道館	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9 中央公園野球場	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10 中央公園プール	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
11 総合公園体育館	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
12 総合公園野球場	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
13 総合公園多目的運動場	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
14 温水プール	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
15 国民保養センター鹿島荘	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
16 総合福祉センター	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
17 南部総合福祉センターわろうべの里	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9
18 各公園テニスコート	→ 1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【問2】 あなたは、これまで下表に示す公共施設を利用されたとき、主にどの交通（移動）手段を使われましたか。また、その場合の所要時間はどれぐらいでしたか。対象施設ごとに、①主な交通（移動）手段と②所要時間を、一つずつ選び、番号に○をつけてください。

なお、①で「利用しない（したことがない）」を選択した場合は、②の所要時間の記入は不要です。

対象施設	①主な交通（移動）手段 （○は一つ）									②所要時間 （○は一つ）				
	自家用車 （自分で運転）	自家用車 （他の方に送迎してもらう）	バス・コミュニティバス	タクシー	自動二輪車・原動機付き自転車	自転車	徒歩	その他 （記入下さい）	利用しない （したことがない）	15分未満	15分～30分未満	30分～60分未満	60分～90分未満	90分以上
※以下の1～18の施設ごとに、 ①・②についてお答えください。														
（記入例）○○○○○	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
1 文化センター	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
2 四街道公民館	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
3 千代田公民館	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
4 旭公民館	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
6 大熊記念コミュニティセンター	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
7 図書館	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
8 中央公園武道館	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
9 中央公園野球場	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
10 中央公園プール	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
11 総合公園体育館	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
12 総合公園野球場	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
13 総合公園多目的運動場	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
14 温水プール	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
15 国民保養センター鹿島荘	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
16 総合福祉センター	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
17 南部総合福祉センターわろうべの里	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5
18 各公園テニスコート	→1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5

<今後の公共施設のあり方についておたずねします>

【問3】 あなたは、四街道市が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、それぞれの施設の優先度（高い・低い）をどのように考えますか。下表の施設ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

なお、①で「どちらかというと優先度が低い」又は「優先度が低い」を選ばれた場合は、②優先度が低い理由より、その理由を二つまで選び、番号に○をつけてください。

対象施設	①優先度 (○は一つ)					②優先度が低い理由 (○は二つまで)					
	優先度が高い	どちらかという と優先度が高い	どちらともい えない	どちらかという と優先度が低い ↓この場合は②へ	優先度が低い ↓この場合は②へ	一部の 人しか使 われてい なさ そうだから	利用者が 少なそう だから	他の施設 に統合(※ 注)でき そう だから	民間に類 似施設が ありそう だから	管理・運 営に要す る費用が 高そうだ から	なくても 支障がな さそうだ から
※以下の1～18の施設ごとに、 ①・②についてお答えください。											
(記入例) ○○○○○	➡1	2	3	4	⑤	1	2	③	4	⑤	6
1 文化センター	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
2 四街道公民館	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
3 千代田公民館	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
4 旭公民館	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
5 鹿放ヶ丘ふれあいセンター	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
6 大熊記念コミュニティセンター	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
7 図書館	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
8 中央公園武道館	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
9 中央公園野球場	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
10 中央公園プール	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
11 総合公園体育館	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
12 総合公園野球場	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
13 総合公園多目的運動場	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
14 温水プール	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
15 国民保養センター鹿島荘	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
16 総合福祉センター	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
17 南部総合福祉センターわろうべの里	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
18 各公園テニスコート	➡1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

※注 統合：複数の同じ目的・用途の施設をより少ない規模・施設数に集約することや、施設の目的は異なるものの、機能が類似する施設を集約することを指します。公共施設どうしの統合や民間施設との統合もあります。

【問4】 市の公共施設は、昭和40年代から50年代に建てられたものが多く、老朽化とともに、近い将来一斉に建替えなどを実施しなければならない時期を迎えます。

一方で、少子高齢化の影響などから財政状況は厳しさを増し、今あるすべての公共施設や機能を維持し続けることが難しくなる見込みです。こうしたことは、全国的な傾向ですが、あなたは、このような状況をご存じでしたか。

以下の中から、一つ選び、番号に○をつけてください。

1 よく知っている	2 なんとなく知っている	3 知らない
-----------	--------------	--------

【問5】 将来も安全で使いやすい施設を提供していくためには、公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策を検討していく必要があります。下表の方策はその一例ですが、あなたは、各方策についてどのように考えますか。

それぞれの方策ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選び、番号に○をつけてください。

公共施設の総合的、長期的な保全・活用の方策例	方策の実施 (○は一つ)			
	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
※以下の1～9の方策例ごとにお答えください。				
(記入例) ○○○○の方策	➡ 1	➡ ②	➡ 3	➡ 4
1 今ある施設を統廃合(※注)や機能集約することで、施設(建物)全体の数を減らす。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
2 近隣の市と共用できる施設は、統合したうえで、市どうしが共同で管理運営する。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
3 施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
4 地域に密着した施設は、区や自治会など主にその施設を利用する人達が管理運営する。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
5 建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばす。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
6 施設を減らす代わりに民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対する助成を行う。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
7 現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
8 現在無料の施設も、可能な限り(法令等に反しない範囲)有料化する。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4
9 他の行政サービスを圧縮して、施設の運営管理費に充てる財源を捻出する。	➡ 1	➡ 2	➡ 3	➡ 4

※注 統廃合：公共施設の統合と廃止。組織や施設などを廃止したり、統合したりすることです。

<あなた自身についておたずねします>

あなたに該当する内容を選び、番号に○をつけてください。

- ① あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

1 男性	2 女性
------	------

- ② あなたの年齢はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代
4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代
7 70歳代	8 80歳以上	

- ③ あなたがお住まいの地区(※同封資料5.中学校地区 区域図参照)はどこですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

1 四街道中学校地区	2 千代田中学校地区	3 旭中学校地区
4 四街道西中学校地区	5 四街道北中学校地区	

- ④ あなたのご職業はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)
また、あてはまる番号がない場合は「6 その他」にご記入ください。

1 会社員(公務員含む)	2 自営業(農業従事者含む)
3 パートタイマー・アルバイト(契約社員含む)	4 学生
5 無職(家事専業含む)	6 その他()

- ⑤ あなたの家族構成はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

1 ひとり暮らし(単身世帯)	2 夫婦のみ	3 親と子(2世代)
4 親と子と孫(3世代以上)	5 その他	

⑥ あなたはどのくらいの期間、四街道市にお住まいになられていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

- | | | | | | |
|---|-------------|---|-------------|---|------------|
| 1 | 1年未満 | 2 | 1年以上～5年未満 | 3 | 5年以上～10年未満 |
| 4 | 10年以上～20年未満 | 5 | 20年以上～30年未満 | 6 | 30年以上 |

⑦ あなたは四街道市内に通勤または通学していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

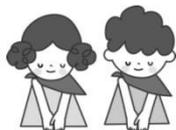
- | | |
|---|---|
| 1 | 市内に通勤・通学している |
| 2 | 市外に通勤・通学している
(通勤・通学している市区町村名を記入してください：) |
| 3 | 通勤・通学していない |

⑧ あなたは自治会などが行う地域活動に参加していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

- | | | | |
|---|-----------|---|------------|
| 1 | 常に参加している | 2 | ほとんど参加している |
| 3 | たまに参加している | 4 | 参加していない |

⑨ あなたは職場や学校以外で、趣味などのサークルや団体に加入していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は一つ)

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
| 1 | 加入している | 2 | 加入していない |
|---|--------|---|---------|



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかご確認いただき、返信用封筒に入れて、9月8日(火)までに、切手を貼らずにポストに投かんしてください。